2—199

島田三郎・安部磯雄 監輯

廓清

第三巻 第五號

主張 社會之改良・風紀之廓清・男女之貞潔・家庭之和樂

△廓清時言……會説
△皇室の尊嚴を傷くるなきか……救世軍大佐 山室軍平
△公娼廢止と國民教育……醫學博士 櫻根孝之進
△日米問題の根本的解決……監督 平岩愃保
△英國の婦人解放……「太陽」主幹 長谷川天溪
△夫婦の妥協……伯爵 大隈重信
△平穩の行手に幸福なし……商業學校長 嘉悦孝子

雜誌之雜誌

◎基督教と家庭生活◎文藝及評論家の宗教觀を論ず◎文藝と教育◎新哲學◎統治權の主體◎所謂國體論に就て◎不良少年◎人道史と風教◎靈魂の表象に使はれたる蝶◎米國に於ける日本婦人◎大阪にはノラが澤山居る◎氣持のいゝ交際振◎教訓を責道具に使ふ勿れ◎子供の褒め方◎節操なき人と節なき竹◎節操を完うするの道◎安價で滋養分のある食物◎其他

△女子教育と富源の開發……メーピー博士
△娘の將來と母親……文學士 三輪田元道
△眞面目なる生活……女子高等師範學校教授 宮川壽美子
△青年と現代……河野尹石
△大阪博愛社の事業……記者
△新宿樓主の廢業……記者
△警察官と樓主の態度……記者

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

會員の義務

一成るべく同志を糾合して會員の增加を圖ること、輿論の勢力を作るには同志の一人にても多からんを要す。

一不用の雜誌は可成知人の間に廻付して主張の徹底を計ること。

右會員諸君が、自らのデューチーとして御實行あらむことを希望す。

出版書目

歐米諸國醜業公認制度廢止運動
定價一冊 拾五錢 郵稅貳錢

右は先般本邦に來援せられたるモーリスグレゴリー氏の著書を飜譯せしものにして、安部磯雄氏の嚴密なる校閱を經たるものなり。自己の研鑽の爲め將又主張貫徹の爲め、最も有力なる武器なり。奮つて購讀あれ。

廓清叢書第一卷 公娼廢止論 伯爵 大隈重信述 廓清會理事 益富政助述

廓清叢書第二卷 此罹災者を救へ 救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第三卷 道樂者への强異見 救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第四卷 自由廢業を奬勵する理由 廓清會長 島田三郎述

廓清叢書第五卷 廓清會組織の趣意 廓清會副會長 安部磯雄述

廓清叢書第六卷 公娼制度と社會の風儀

定價一冊各貳錢 郵稅六冊迄貳錢

本會に所用の方は

東京神田區美土代町三丁目三番地
廓清會本部

宛に願上候

會費の納入

會費は郵便爲替、又は振替貯金東京一九五三三番益富政助に拂込まれたし。

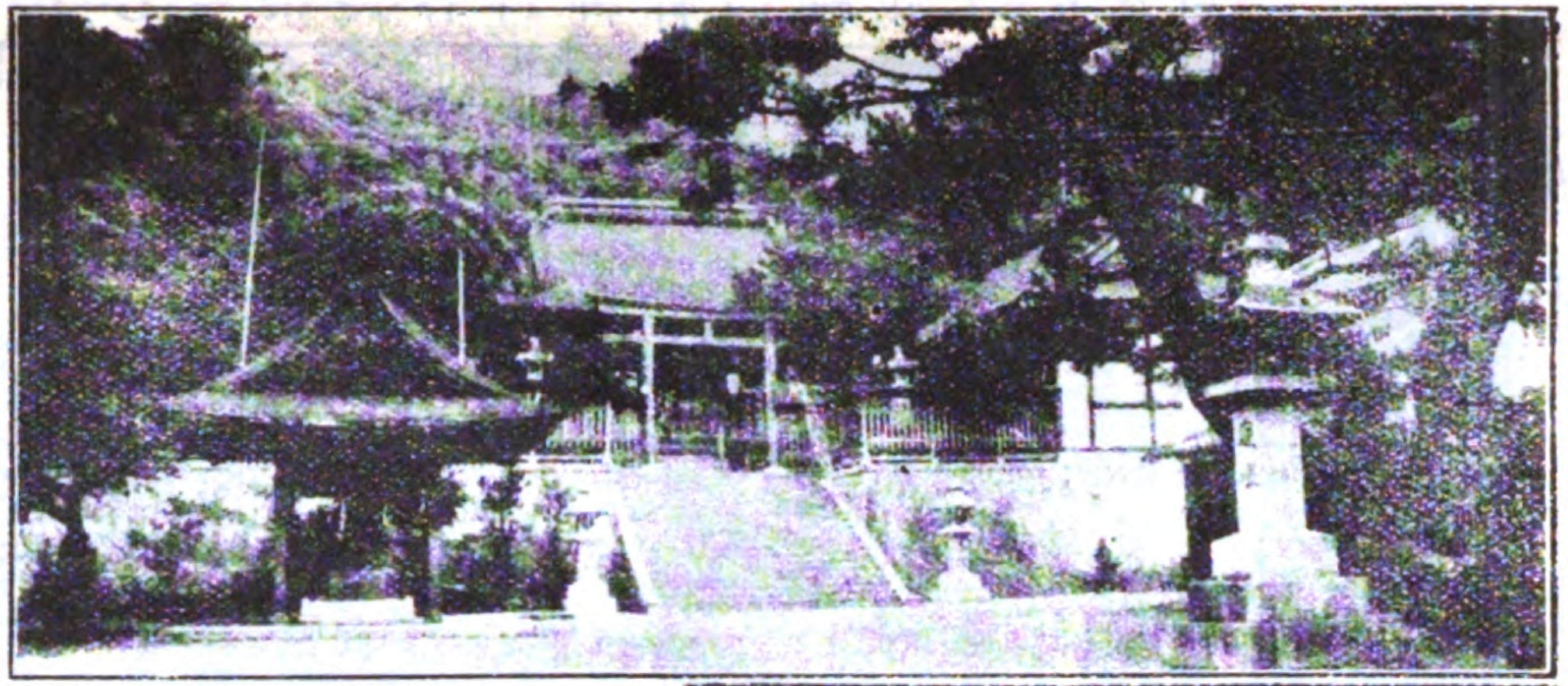
(注意) 前項振替口座一九五三三番は益富政助氏名儀にして廓清會所有にあらず、依て御送金の節は、必ず益富政助宛に御拂込相成たし。但し裏面に「廓清會費」と明記ありたし。

大正二年五月十四日納本 一部定價金六錢
大正二年五月十五日發行 (每月一回十五日發行)

編輯兼發行人 神田區三河町一丁目十四番地 伊藤秀吉
印刷人 神田區三河町一丁目十四番地 小林照雄
印刷所 神田區三河町一丁目十四番地 丸利印刷所
發行所 神奈川縣川崎町砂子百三番地 廓清發行所

人間をして顔色なからしむる奈良春日神社の神鹿(記事參照)

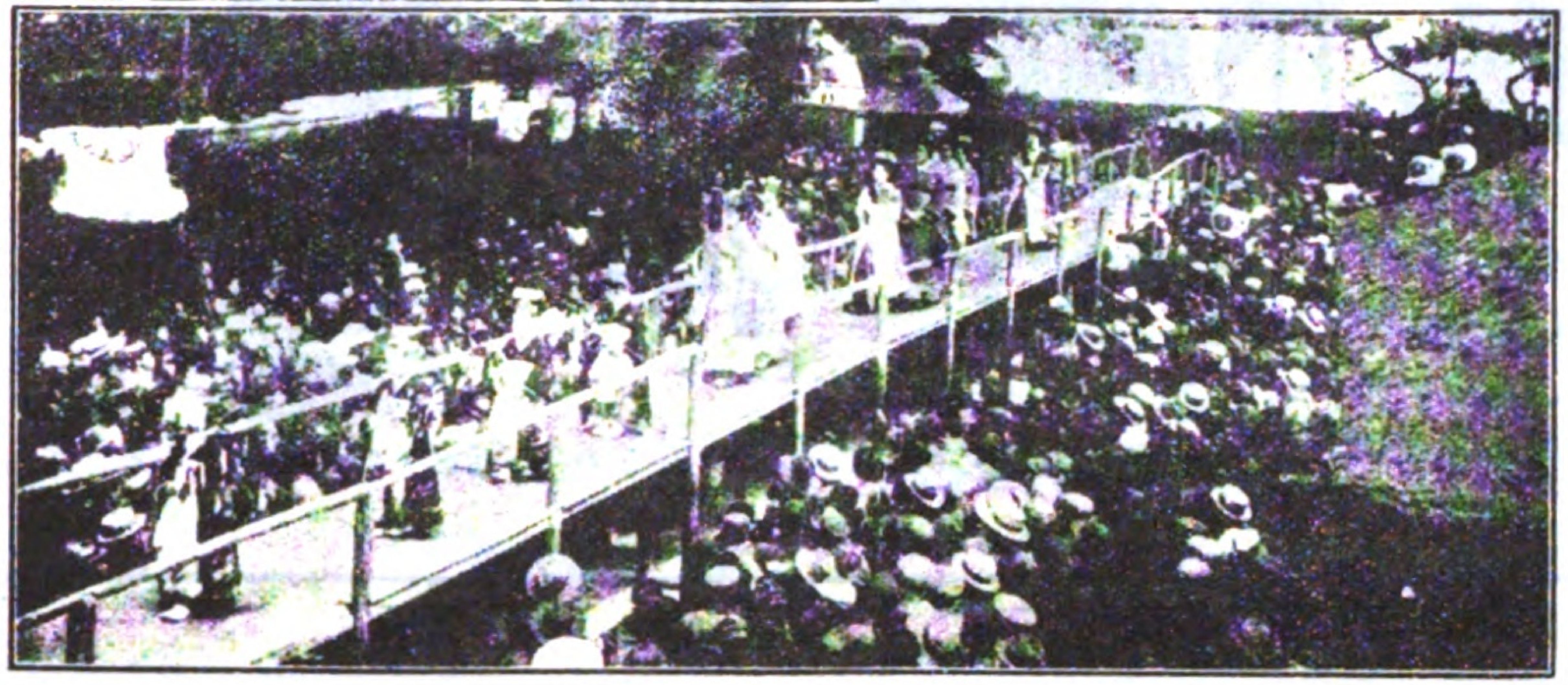
下關市先帝祭の醜態暴状（記事參照）



官幣大社赤間宮

參拜娼妓の「宮女」姿

參拜娼妓の「太夫」姿



先帝祭太夫參拜の光景

EAST ASIAN LIBRARY

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

會告

來る五月三十一日(土曜)本郷區春木町、中央會堂に於いて左の順序により廓清會第三回總會を催うす、各地會員諸君は奮つて來會せられたし。

(一) 協議會

午後一時、協議會を開き、前年度に於ける本部並に各支部の事業經過を報告し、本年度に於ける運動發展の方法を協議す。

(二) 懇親會

同五時、懇親會を開き、談笑の裡に晩餐を共にし會員相互の親睦を期す

但し本會出席者に限り會費三十錢當日御持參の事

(三) 大演說會

同六時半、大演說會を開く出演者氏名如左

但し未だ交涉中、多少の變更あるべし(順序不同)

辯士

大隈重信氏
日向輝武氏
增田義一氏
森村市左衛門氏
安部磯雄氏
山室軍平氏
内ケ崎作三郎氏
矢島楫子氏
嘉悅孝子氏

安藤太郎氏
林歌子氏
浮田和民氏
宮田脩氏
三輪田元道氏
西村勍之助氏
寺田四郎氏
加藤咄堂氏
齋藤壽雄氏

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清時言

先帝の靈を辱しむるの極

下之關の先帝祭に於ける醜態暴狀に關しては、別欄山室大佐が涙を吞みつゝ執筆せられたる論文にもあり、又此論の架空の事實を基礎としたるものでなき事を證據立つる爲には、本號の口繪に其寫眞をも載せておいたが、今一つ馬關每日新聞が麗々して二號活字を以て記載せる、本件に關する記事を揭げやう(四月廿三日、六千八百三十四號)

▲女臈の艶姿　此の日和の具合ならば明日の女臈參拜は多分差支なかるべし例の太夫の艶姿衣裝な聞にひよ子の振袖は緋襦子に白櫻の刺繡模様增榮の襠は紫襦子に竹虎の刺繡模様小松は黑襦子に羽衣の刺繡の模様豐次は淺黃襦子に孔雀の刺繡模様可笑は傘止めにて紫襦子に飛龍の刺繡模様の上に納戶結面に萬の紋付帛紗を縫ひ合せて覆ひ燒香の戾り天橋の上より解ひて群衆に向つて落花と蒔き散らしつゝも八文字內輪に結ぶ盆下駄重たげに悠々とくるわへ歸るといへばさながら浮かび出でたる浮世繪の太夫顔紛の香りに醉ふ群衆のごよめき想像するだに華やかなるものなるべし

是れ實に何といふ痛ましい事の極みであらうか。

神武天皇の尊像を辱しむ

新潟は藝娼妓の本場と聞いて居たが、行つて見て流石に驚いた事は、彼地の公園の中に日露戰役の彰忠紀念碑がある。形ちは神武天皇が地球の上に御登りなつてござるところを現はしたもので、一見して人をして崇敬の念を起さしめる。處がその神武天皇の銅像なる、尊きスタチユーの門のとびらは驚くべし、新潟遊廓の寄附に成つたものである、而かも麗々しく「献納、廓一同」と石にほりつけてある。神武天皇を侮辱し奉り、戰死者を愚弄した振舞ではあるまいか。

公娼問題と教育家

本文の記者は曩に北越地方を巡遊したが、其頃同地方の敎育家諸氏は(農學校長、高等女學校長、中學校長、小學校長など)相集つて、男女學生の風紀取締に關し協議會を開き、そして左の件々を協議し且決議した。

(一)男女學生の書面の往復に關する取締り方

(二)此地方學生の不行績に關する制裁な一定する必要なきか

(三)飲酒、喫煙、男女の關係、腕力の暴行は嚴重に之な制裁する事

以上は協議題目で、決議を經たるは

(一)自他な問はず學校の生徒に對しては勿論一般の兒童群の喫煙、其他不都合の行爲あるな認め次第敎育者は必ず之に訓戒な與ふること

(二)兒童青年に對し日に一善な爲すことな奬勵すること

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

(三)學生の演劇、活動寫眞觀覽を禁ずること

記者は先以て敎育家諸氏の風紀問題に熱心なるを謝するものである。其と同時に演劇、活動寫眞すら、學生の風紀に害ありとすれば貸座敷の害はもつと大なるものがあるべき筈である。吾人は廢娼問題が是非共、敎育家諸君の間に活問題として論議せらるゝやうに望む。

藝妓誘拐株式會社

國民新聞の報ずるところに依れば、或二三の資産家が後楯となり、四五の藝者屋がこの程寄り〳〵相談の上、新橋に藝者屋の株式會社を組織し、近々其發表を公にするまでの運びになつて居るさうで、其目的とする所はこれまで素人は多く桂庵口からかゝつて來るのであるが、其桂庵なるものが多くは惡辣なる手段をとるために、素人で藝者になりたい志願者があつても、桂庵の手にかゝるのはいやだし、それかと云つて傳手はなし、と云ふので其儘になるのも大分ある。そこで其藝者を手に入れる手段として、帝劇が女優を募集すると同一の手段を取り、新聞に廣告し時日を定めて其試驗を行ふ筈そして容貌の優れた女なれば大概採用し、藝事は追々に仕込んで一人前の藝者に仕立て、將來は會社專屬にするのが目的でこれを算盤玉に當つて利益三割の配當はある云々。

所謂資産家なるものは飛んでもない事をするものだ。若い女が藝者になる傳手がなくて藝者になる事が出來ないとならばこれ程幸な事はないではないか。惡辣の桂庵は惡む可しと云へども、これを恐れて其ため藝者になるものがないとすれば社會風敎上又本人將來の幸福のためこの上ない事である。然るに會社組織で以て、もつと藝者になり易からしめやうとは以ての外の了簡と云はねばならぬ。お客論の著者が、當今の紳士を評し、「獸類の風上にも置けぬ奴」と罵しるのも無理からぬ事と思はれる。

鹿族に及ばざる人間てふ動物

記者は又、先日大和の奈良に行つた。奈良はさすがに古き都で、殊に春日神社の神鹿を以て有名である。鹿は約四百ばかり居る。舊約のダニエル書に、獅子は人の子と共に遊び云々と云ふ句があるが、春日神社前の廣い芝生の上に子供と鹿と遊んでるのを見ると、ダニエルの理想の天國が出現したやうな氣がして何とも云へぬ愉快な感がした。

尙其飼養者について聞くと、かくも多數の鹿が群をなして居るけれども、彼等の間には判然とした夫婦關係があつて、而して其夫婦は、其以外に於て決して倫を亂すやうな事はない、卽ち人間の不義姦通と云ふやうな事は全然ない。而して又他の獸類の間には成長するに從て自然親子の關係がなくなるが鹿は親子間の亂倫も斷じてないといふ。飼養者が笑つて「鹿はなか〳〵人間以上です」と云つたが事實確に人間以上である。人間以上と云ふのは、やがて人間は鹿より下だと云ふ事である。人間の仲間では、自分勝手で萬物の靈長などと言つては居るが、若し萬物會議の協贊でも經るとしたら迚も靈長としての當選は覺束ないやうに思はれる。（全）

主張

皇室の尊嚴を傷くるなきか

（官幣大社赤間神宮の祭事に付て）

救世軍大佐
廓清會評議員　山室軍平

（一）驚く可き下關市の陋俗

例年の如く此春も亦一度滿洲の救世軍の事業を視察し亦應援したい爲めに數日前東京を出發し、濱松と神戶とにて七八回集會に出席したる後、汽船天草丸にて大連に嚮ふ事となつた。神戶にては先頃市會議員の選擧に際し、二名の貸座敷業者が選擧せられかゝつたとやら、選擧せられたとやらいふ話を聞き、憤慨に堪へず日本有數の港である神戶、世界各國との交涉の最も多い神戶の市政が貸座敷業者に由つて代議せられるやうな事で何うなるものかと、乃ち去二十六日（土曜日）其地の靑年會館に於ける講演會に於て事の序に其の事を極論し、神戶人士の注意と警醒とを促がしたのである。

二十九日（火曜日）私は一寸門司と下關とに上陸し、救世軍の門司分隊長其他と三十分ばかり下關市を散歩するうちに私は不圖奇怪極まる廣告を見た。と云ふのは或寫眞屋の前に戶板一枚の大さの廣告が出て居てそれに墨黑々と「參拜女郎寫眞」と認めてあるのであつた。何人の事かと思へば之は官幣大社赤間神宮の一年一度大祭に女郎が行列を造つて參拜する風があつて、それを寫眞に撮つたのだと云ふことである。元來今の日本の娼妓取締規則に由れば、娼妓は公衆の居る所へ出て來て顏を晒らし風俗を亂す事があつてはならぬと、之を遊廓の中に閉ぢ込めて置くと云ふのである。其のため廢業したくて廓外に出るものをさへ警察では往々之を處分するといふ如き間違つた行政處分さへ行ふて居る世の中に、これは又不思議至極の事である。娼妓が大層着飾つて八文字とかを履んで白晝公然官幣大社而も安德天皇を祭つてある赤間神宮に參拜し、それを此地の呼物にして近隣近郷から老幼男女が集り來つて見物するといふのである。それが其地方の人心に影響を及ぼし、其風俗に惡き感化を及ぼさずに居やう道理がない。

聞けば斯かる奇怪なる風習の出來た起原は其の昔、平家が檀の浦に沒落の時、官女の生き遺つたのが花を賣りつゝそこらを巡り同時に淫賣をしたのが本で、此地方に娼妓が出來たつまり其當時の官女は卽ち今日の娼妓の元祖だといふので、毎年娼妓が安德天皇を祭つて神社に參拜して之を紀念するのださうである。隨つて下關では貸座敷の收入帳簿を「花山帳」

といふ。花を賣るにかこつけて淫を鬻いだ昔に因みてのことである。

〈二〉敢て內務大臣の反省を促す

毎年四月二十四日が赤間神宮の祭日で其日には娼妓は「太夫」といふ名の下に、舞妓は「禿」といふ名の下に、又娼妓若くは藝妓の中より「官女」の名の下に、及び舞妓や茶屋娘の中より「稚子」の名の下に、古風の盛裝をなしたる者を出し、彼等をして其の日特に設くる長い假橋の上を行列させ、近郷近在より特別の船迄出して人を集め、之に見物さするのである又其の翌日は所謂「官女」とて前言ふ如く娼妓、藝妓の一隊は安德天皇の御遺骸の打揚げたりといふ濱邊迄、可なり長距離の處をねり歩くのださうである。私は此奇怪なる事實を聞取り、別に其の寫眞や繪端書など眺めて、心に感じたる所が少くない。

第一、此は娼妓取締規則に違背したる事だといふことである。娼妓を公衆の中に出すのが惡るいといふなら、何故斯かる此地方第一の大祭に娼妓を外へ出し、而かも娼妓だと云ふことの看板をかけて、之に一種の裝をなさせ、所謂八文字などふんで練り歩るく如きことを許すか。これでも娼妓を外に出さぬといふ精神が保存せられて居るといふか。又止むを得ずして公娼を許して置くのだといふ申譯が立つか。娼妓取締規則に此んな例外を許す日本は醜業を誇りとする日本である世界の醜業婦輸出國を以て自ら許す國民であるといはれても何んと申わけ立つか。私は何故內務大臣が速かに斯かる奇怪なる風習を禁止してしまはれぬか、不思議に堪へぬものである。

〈三〉先帝の尊靈を汚す事なきか

第二、これは皇室の尊嚴を傷くる恐あるのではあるまいか安德天皇にお附申した官女が果して淫賣婦の先祖となつたものか否か、私は其の精しい歷史を知らない故、何んとも言ふことが出來ない。唯臣子の情としては何卒そんな事が無つたことを願ふのである。假令傳說の如く當時の官女が誤つて淫賣婦になつたにもせよ、それは官女としての資格で淫賣をしたのでなく唯不幸なる社會の落伍者として此に至つたものに過ぎない。それさへ分別の仕方では幾ら落ぶれた漁夫船頭の妻となるとも、淫賣はせずして命も繋げたらうがと思はれるそれを苟くも官女ともあるものが、醜業婦と迄落ぶれたといふ不幸な事實があつたからとて何か晴々しい歷史上の事實でもあるかの如く、今日迄も娼妓藝妓をして「官女」「太夫」「稚子」「禿」などの名目の下に古風の裝をして練つて步かせ、而も其行く先は安德天皇を紀念する赤間神宮と、其御遺骸を打揚げた濱邊とであるといふのは、何等の不都合千萬のことであるか。墮落しない前の官女は成程安德天皇の御傍に侍したこともあらう、併し乍ら墮落した官女、淫賣婦が、倘あつかましく安德天皇のお傍に罷出る資格があつた筈といふのであるか。皇室は神聖である。歷代の皇室は出來るだけ臣子の忠

愛の情を鼓舞する樣な風に之を紀念し奉るべきものである。古への天皇陛下の御紀念に娼妓を結び付け「皇族下乘」の札を立た所へ、淫賣婦が行列して麗々しく參拜することを最大の禮典とする如き奇怪なことを許して置くのは決して皇室の神聖と尊嚴とを擁護し奉つる所以の方法でない。私は當局者の斷乎たる處置を切に希望するものである。

《四》之れ風俗壞亂の奬勵に非ずや

第三、これは言ふ迄もなく甚しく人民の風俗を亂るものである。淫賣婦に由緒を附して之を皇室に關係あるものゝ如く裝はせ、之を盛裝せしめて麗々しく練つて歩かせ、幾千幾萬の人民は手を額にして之を艶稱せしめるのである。而してそれ等の婦人は一夜幾許の金にて淫を鬻ぐものだと云ふことを公に知らしめるのである。其の家を外にする道樂者を出すに何の不思議があらう。其の少年青年をして淫猥なることの實物教育を受けしめるに何の不思議があらう。其の無智なる貧家の親達をして、願はくば我が娘を賣つて斯かる名譽ある身の上とならしめ自分も亦左團扇で暮し度と思ひ立たしむるに何の不思議があらう。私は唯其善良なる風俗を害すると云ふ上から見た丈けでも、斯かる時勢後れの陋習は速に禁止せらるべきものであると確信する。

昔コリントの市には神社に附屬する淫賣婦の設備があつたとて之を最も下劣なる神社の標本、又最も醜惡なる風俗の手本の如く傳へられて居る。併し乍ら若し赤間神宮も、淫賣婦との關係を今日の儘にして置く樣な事であらば畏れながら之は安德天皇を御紀念申上る神社を以てコリントの昔の淫祠と等しくし奉るものである。此んな事實が世界各國にでも知れ渡ることでもあつたならば、日本人民の耻辱は如何ばかりであらう。殊にそれが皇室に御關係の神社である處から格別に恐懼に堪ない處である。私は當局者が今の間に斷乎たる處置を取つて、大正三年度以后きつぱりと此淫賣婦の行列を禁止せられんことを切に希望するのである。航海中運筆自由ならず、文字の穩當ならざる處は御容赦を仰ぐのである。

（大正二年四月三十日天草丸にて朝鮮海峽を經由しつゝ）

公娼全廢と國民教育上の大缺陷

大阪高等醫學校教授醫學博士　櫻根孝之進

二月廿三日廓清會大阪支部研究會席上に於て櫻根博士が述べられたる講演の大意である（文責在記者）

只今松浦博士の述べられたる事（前々號所載參照）に就ては無論異議を挾むべき餘地がない。然し此の如き社會的大問題は、決して之れが一朝一夕にして成就せらるべきもの

であるとは考へられないのである。又只だ目前に一時置かれた問題ではなくこれが成功には、或は五十年或は百年或は三百年の歳月と幾多の尊き犧牲とを拂つて、漸くにして成就せらる可きものである。少くともこれ位の覺悟を以て著手しなければ、到底其成功は覺束ない。夫れで此の問題は一面に於て現行的問題であると同時に遠き將來に屬する大問題である到る所に風俗を壞亂し、惡德を成長せしむるものは公娼である。故に此の問題を考ふるに當りては種々な方面から進んで行かねばならぬ。法律を以て之を制し、人權上道德上より之を論ずるも可ならん。されど予は今日敎育問題即ち國民敎育の上から公娼を論じて見たいと思ふ。

○

予は大阪に於て有名なる子寶を保つ一人に數へられて居るのであるが、これ等の頑是なき子供等は予に種々なる敎訓を與へる。予の内には醫療器械が澤山あるので子供が手に取つて、之を玩弄物にするので危險千萬であるが、これをもぎ取る時には子供に怪我をさせないにしても器械を破損ことがある。然し何か其子供の好きな玩弄物を持つて來て取り替へてやると、子供は何の危險なしに得心して器械をこつちへ渡すのである。こんな關係が公娼廢止問題にも應用されるのではあるまいか。抑も女郎買ひなるものは下劣なことは云ふまでもないが、一種の道樂、むしろ娛樂であるやうに思はれる。一體娛樂は社會に一日もなかる可からざるものである。娛樂は淸涼劑である、生ま温いやうであるが先づ最善なる娛樂を與へて後これをもぎ取る方或はよからんかと考へられる。

○

抑も賣春の起源を尋ぬるに、男子は勿論であるが、女子も惡い。今日は女子の自覺、自尊と男子の反省が必要であると思ふ。全べての女子をして眞に自覺心を振ひ起さしめ、男子をして反省せしむるがためには、如何すればよいのであるかこれはどうしても國民敎育の基礎に立ち入つて考へねばならないのである。が今日の國民敎育は其の本末を顚倒して居はしまいかと思ふ。敎育すると云ふ事は、敎へて知らしむると云ふのでは未だ〱敎育の目的を達しないのである。さらば如何にして其の目的を達し得られるか、新聞の三面に每日顯はれて來る社會のパノラマは、無識なるものに却て大犯罪者が少なく比較的知識を有する者が惡いことをして居ると云ふ事を示すのである。これは結局社會の德育問題になつて來るが、自分の經驗を喚び起して見ると、一粒の御飯が疊の上に落ちても目が閉れると物心覺えぬ先から敎へられた其の親の敎訓は今日も尚ほ忘れない。これは今日の敎育家に取つて今日の敎育の缺陷を補ふ大參考ともなる可き性質のものではあるまいか。習慣の力程恐る可き勢力はない。德行の習慣をつけるために、德育は殊更に小さい時分から授けて行かねばならない。國家社會の風敎改善は永久的の事業で、國民敎育上から見て大に考へねばならないものである。斯んな風に主張

すると、反對者は比較的德育の行屆いて居る歐米强國ですら多くの犯罪人があるではないかと反問するであらう。然し犯罪者はあるにしても日本のやうに相當知慮ある中年以上の所謂紳士が大犯罪を敢てするやうな事は、歐米に於ては少くない。若しあるとしても思慮少い青年が、前後の考へなくして血氣に任せてやるのが多いのであるから、同じ犯罪にしても精神的關係に於ては彼我全く異なるのである。吾が國の國民敎育なるものは未だ所を得て居ない。殊に常識を養ふやうになつて居ない。これが吾が國現代の國民敎育の一大缺陷である。

○

予嘗て獨逸に在るの日、一日小學校を參觀した事があつた其の時に心に浮んだのは、所詮日本の國民敎育は駄目であると云ふのであつた。歐米の小學校卒業生は日本の中學校を出たものよりも、遙かに常識を供へて居る。英國では小學校を卒業した丈けでもセクスピヤなどのやうな英文學の粋を讀み得るのである。夫れで小學校さへ卒業するならば文字を讀む上に於ては差閊がないと云ふのである。日本では大學を出ても充分に手紙のかけない者さへある位である。これは畢竟する所文字上の關係であらう。(記者曰く茲に於て博士は其の持論にして目下之に熱中せる羅馬字採用論を持ち出だされたり）つまり文字の六ケ敷いため論語讀みの論語知らずとなつてしまう嫌ひがある。肝心要な德育を授くべき時期に於て六ケ敷い文字ばかり學ぶことに腦力を用ひ、ために德育と文字が顯はす敎訓の眞義とを體得する事が出來ないで終る事が非常に多いことゝ思はれる。

例へば日淸、日露の三大戰役に出征して爀々たる武勳を顯はし、宇内に我國威を發揚せしむるに至れる勇士をして若し封建時代の遺物である鎧兜を着せ、全く舊式の武裝を以てこの戰場に望ましめたりとせよ、如何に勇敢なる我が兵士たりとも必ず敗戰し國民は現在の光榮に更へて大なる耻辱を味ひたりしならん。漢字の武器は今や已に時世後れの感なくんばあらず、折角の敎育もこれがために徒勞に歸せざれば幸ひである。結句我國の社會問題風敎問題德育問題を解決し進んで此の公娼問題を解決するに及んで國民の德を高尙にせなくてはならないのである。それがためには文字の改良が必要である。而して當面の公娼廢止を決行するに或は先んじ或は同時に國民の道德念と趣味とを高尙にすることに大に努めなくては折角の公娼廢止運動も水泡に歸するであらうと思はれる。

大連にて大塚君の許に泊めて貰らひ、數日間奮鬪致居候、大阪商船の天草丸にて渡連の砌、三等室にて集會をなし、說敎の後、彼等がまさかの時は救世軍に賴り來る可き事を勸誘し置きたるに、果然一女子あり、堅氣なる勤めの積りにて來りしに、小崗子にて醜業に陷られんとし警察に逃込み、ＳＡに引渡さるゝ事と相成候。御祝福を祈る。

五月四日　山室軍平

日米問題の根本的解決

日本メソヂスト監督
廓清會評議員　平岩愃保

（一）國運消長の大問題

排日問題は識者にとつては數年前からの宿題で、私の如きも古くから注意を拂ひ且つ論じ、在米の同胞にも屢〻警告をした問題である。

私は亞米利加には數回行つたが、始めて米大陸を蹈んだのは明治二十年で、此頃の日本人に對する態度は、日清戰後に行つた時とは非常に懸隔があり、更に日露戰爭後とは隔世の差違があつた。廿年二十一年頃の米國は何れの處に於ても、加州に於ても、加奈陀に於ても非常に歡迎したものである。それが日清戰爭後、始めて日本人と支那人との區別を具體的に知り、政治家や實業家の間に稍恐れる傾向が生じた。日本人排斥の萠芽は此時にあつたと思ふ。

前提として話したいのは、先づ其廣袤の驚く可き大である事で、從つて西の州の議論が東の州の議論でない事である。それに各國人の寄合世帶である事である。從つて之を人種問題と解する事の誤れる事である。亞米利加にはチユートン人種もあればケルト人種もある。アングロサクソンもゐればスラブ人もゐる。葡萄牙人もあれば伊太利人もある、黑ん坊もゐれば支那人もゐる。斯ういふ國柄で一人モンゴリア人種を排斥するといふ事は通らぬ議論で、一部には當つても一般に通ずる議論ではない。又米國人の愛國心の強い事である。日本人は忠君を基とした愛國心であるが、米國人は其誇とする We are not subject, We are people（臣民ではない人民である）で、風俗人情を異にするものから出來てゐるから、國を愛せないならば須臾も米國といふ國は成立せぬ。米國の成立には特に欠く可からざる要素をなしてゐるのである。又米人は一人々々の責任を重んずる事が大である。個人の義務使命を重んずる事は非常なもので、日本人の想像し得られない位である。

日本人排斥案は、本年は土地所有禁止となつて表はれたが明治三十二三年に私が漫遊した時は、レーボアユニオン（勞働組合）の大工とか髮床屋とかの規約に、東洋人を用ふ可からずといふのがあつた。之は支那人と日本人を主に指したものであるが、殊に日本人に戰後の適用が嚴しくなつた。這麽譯で一個人としては同情するものがあつても、組合の規程によつて裁縫師が日本人を使用する事が出來ない、勞働者を要するも日本人を用ひてはならぬといふ風になつて來た。斯うなれば日本人は獨立するより外ないのである。それから例の學童問題となり、本年の土地案となつてゐる。

日本の內地は如何に瑞穗國でもゴム玉のやうに伸びる譯には行かぬ。而も人間は年々殖えるから、米は益々高くなる。外へ膨脹せんとすれば排斥される。假りに戰爭して勝つたとしても其國を取る譯には行かないから、其結果は益々排斥されてやはり行處のない事になる。南米では昔の合衆國のやうに歡迎してゐるからそこへ行かうといふかも知れぬが、併し排斥の原因を探究し、根蔕を芟除しなければ南米からも遠からず追拂はれるのは火を見るよりも明である。加奈陀でも現に排斥してゐる、濠洲では昔こそ歡迎したが、今は米國よりも排斥してゐる。然らば此問題は實に民族の膨脹と共に免る可からざる生命の問題である。同胞の飢

渇の問題で、國運の消長に關する大懸案であると云はなければならぬ。我々は最も自由を尊重し、個人の義務を尊重する亞米利加に此問題の起つた事を、深く考察して根本的に之が解決に努力しなければならぬ。

(二)焦眉の急を如何

解決の一方法として研究したいのは歸化權の問題である。在米の同胞の間にも日本の内地にも大分此事が論ぜられてゐる。併し乍ら實際に於て之は至難の希求である、而も其困難は日本人の方に餘計にある樣である。彼等の大多數は永住の志がない、金が出來たら歸つて來る考の者許りである。それでゐて他國民が得るやうに歸化權を得やうといふのは蟲のいい話で、實狀を無視した議論である。嘗て青木全權大使が時の大統領ルーズベルトと會見して、東方から來るモンゴリア人種を排斥して、西から來るモンゴリアンは構はないといふのは怎ういふ譯かと突込んだ。ル氏は驚いて西から來るモンゴリア人種とは何ういふ事かと聞くと、それは歐羅巴の匈牙利人であると答へた。匈牙利人は實際蒙古人種である。蒙古人種は露西亞人等の中にも余程混つてゐる。彼のピーター大帝の如きも實はモンゴリアンと他人種との混血兒である。遉のルーズベルト氏も青木氏の突擊に對して困つたといふ事で青木氏は威張つてゐるが、ル氏はそれでは歸化權を與へやうかといふ話になつたら、青木氏は、いやそれは折角であるが無駄でしよう、日本人は愛國心が強いから、他國に歸化する樣な事は望むまい、といふ樣な答をして、ル氏は「それは立派な國民性である」といふ風に讃辭を呈したといふ事であるが、今から見れば殘念な事で大失策といふ事も云へるけれども、之は青木氏の豪語に止まらず國民一般の感情を代表した言葉であつたと思ふ。縱しや市民權を得ても之を眞實に利用するものが果して幾人あるであらうかそれが大問題である。無い位なら相談にもならぬ。

一體大隈伯は何が故に一本足を失はれたか、あの頃の日本人は外國人に雜居は許さぬ、土地の所有をも許さなかつた時で、それを外國人の犯罪は日本人の判官と外國人の法官との合議裁判にせんとの案を立てゝ、條約改正と治外法權の撤去を行はんと企てたが、外國人に土地を賣られて堪るものかといふので案は廢滅となり足は爆裂彈の爲に消えたのである。そして其時の論據はアメリカの或州では土地を所有させないぢやないか、だから日本でも土地を所有させる事はないといふので、一番に贊成の意を表したのは亞米利加であつた。斯ういふ關係があつては、我々は今日亞米利加が人道に悖くの不公平のといへない立場であるのである。向ふにも理窟はあるのである。

一時の解決は或は大統領や國務卿に訴へ、延期とか廢止とか色々請願をするとかして一時の解決を見るであらう。けれども成程と思はせるのは唯一つである。これ迄日本人に假にも土地を所有せしめてをいて、又は借用せしめてをいて、今遽に之を奪ふといふのは酷い、既得の權利を奪ふものであるといふ論が立つ、そこで三年間に改正するといふ樣な事をしてゐるから、人道上から永い間の國交を破るといふ點から論

ずるのみである。條約の上からは議論は成立しない、條約上の議論の如きは解釋のしようであるから、私の考では人情に訴へて焦眉の問題を片づけなければならぬ。日本國民は熱し易く冷め易いから一時の解決に滿足して枕を高くしてゐると、又其耳朶に迅雷がはためき、醜き狼狽をせねばならぬであらう。

(三)根本的解決の道は之のみ

然らば永久の解決は如何、私は宗教の力によらなければならぬ事を斷言する。基督教の感想を得るやうにならねば最後の解決は出來ない。第一日本人と米國人とは道徳の標準が違ふ。之を統一する事なくしては到底根本的解決は覺束ないのである。日本人の道徳の根底は忠孝で米國人は個人の價値である。義務の觀念の起るポイントを一にし、天を畏れるといふクリスチヤン センチメントに至つて、始めて米國人ともよく合ふやうになる。

然るに日本人は男女の關係の如きは、殊に道徳觀念の鈍き事、彼等の驚歎する處である。醜業婦が澤山ゐる事などは、それを語る事すら何等珍らしい感じを人に與へない程であるが彼地に居る生活に餘裕のない人達は、旅の耻は搔き捨てと、己の妻に醜業を營ましめてゐるのが澤山ある。斯ういふ樣な事は到底米國人の理解する事の出來ない處、彼等の最も憎み卑しむ風習で、殊に米國人に取つては國家の大切なる根據、家庭の要業である節操を賣るのであるから、驚き排斥するのも無理はない。

そして彼等は、我々は堂々たる大和民族であると威張つてゐる。何にＡＢＣなど知らぬでもいゝと豪語し、日本人は日本人の村を作り、十年居つても英語を碌に話せないものは澤山ある。之等は排斥の起る所以で、全くセンチメントが違ふのである。又彼等は社交といふ事を知らない、米人と親しく交らず、そして愛國心は常に却つて自殺の刄となつてゐる。根本問題は日本の教育の方針を改め、世界同胞といふ心になり、家族制度や國家主義が餘り強くして、妄りに外人を夷狄として排する思想を去らなければ不可である。

毎年在米の勞働者は數百萬の金を日本へ送つてゐる。斯ういふ風では開墾を許しても向ふの爲にはならぬ、地を變へて考へて見ると極めて明白で、而も其内四五十萬圓は醜業婦の送る金であるといふに至つては啞然たらざるを得ない。

日本魂は失はないでも彼等と親しみ睦み、敬愛する事は出來るのである。獨逸人は亞米利加に行つても尚獨逸人である。どうしても基督の所謂己れの欲せざる事を人に施す事なく、汝の隣人を己れの如く愛しないでは噓である。かくして始めて融和し、神の作り給ふた土地に神のなさしめ給ふ仕事にいそしむといふの感念に到着し、和氣靄々、人類の幸福を進めて行く事が出來る。エペソ書の二章にある如く二つのものが一つになるといふ基督の教に遵ふ時が來れば、根本からこんな問題は霧消する。茲に出ですしては一時の解決を得るとも又々他の形を以て表はれ來るであらう。

時論

二

英國の婦人解放

『太陽』主筆　長谷川天溪

（一）英國婦人の歴史的地位

一體英吉利といふ國は、靴の紐を結んでやると云ふ位に婦人を尊敬する國民である樣に思はれるが、昔からさうではない。エリサベス朝邊りの女の地位は餘り低くはなかつたが是は女王を頂いて居る關係が大分與つて居る事は勿論であらう。それが十七世紀の末葉あたりになると女の地位は著しく下落して、敎育を施しても效果はない、女は男より遙に劣るものである。唯子供を生ましておけばそれでいゝ、男は勉強次第で敎授にもなれる、政治家にもなれる、軍人にもなれる。併し女は幼兒から娘、それから妻君、そして或は寡になる丈で、朝から晩迄家の中の世話さへして居ればいゝ、女は働くものではないと考へられた。耶蘇敎でも女はアダムの橫つ腹から出來たとしてある。ピユーリタニズムは女を大分冷遇したものである。無暗と外出もさせない、本を讀むなら聖書位を讀ませて社會の問題に觸れさせなかつた。從つて女の能力が發揮される事もなく、所謂賢母良妻主義以外に出づる事はなかつた。尤も其頃でもデボードの樣な文學者があつて、內部から婦人の價値を示してゐた。其後時勢が段々進んで十八世紀の始めクインアンガー即位後、やはり女が天子の位に即かれたといふ暗示は　婦人の地位を著しく進めた。是には文學の方面から女を持上げたのが大關係をもつた事を記憶しなければならぬ。即ちアリソン・スチールの如き文學者達が從來世界の女は餘りに壓迫せられて居つた、女と雖も敎育次第で文學も哲學も解する事が出來るといふ風に說き、作の上に取扱ふ道を大分改めた。以前は唯家庭の中にのみであつたのが、敎育の上に關係せしむるとか、慈善事業にたづさはるとか大分社會的に女を材料として取扱ふ樣になつた。千八百三十七年に女は男より劣つて居るものでないといふ本が出た是れ實に女子が男性に對する反抗の第一聲であつた。

此時代に始めて英國にブリユーストツキングが生れたのである。此ブリユーストツキングといふものは十四世紀の始め頃伊太利のヴエニスで、文學を解する女達が集まつて會を開いたのが始まりで、十五世紀の頃迄續いた。そして佛蘭西に移り、更にアリソン、スチールの樣な文學者が養成し英國に之を見るに至つたのである。日本にも靑鞜社があるが英國のそれとは大分異つてゐる。十八世紀頃の理想は寧ろ良妻賢母であつた。英國傳來の思想を其儘に取つてゐたのであるそして優しいといふ樣な事、デリケートな方面を失はなかつた。男子と文學の話をするとか、經濟上の話をするとか之に理解と同感があつたといふ迄で、佛蘭西のそれのやうに自由な放逸な反抗的なものではなかつた、寧ろ消極的に文學を愛好する、希臘語も分れば羅典語も讀めるといふ、そこに特色があつて、外には何

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

もなかつた、つまり女の個性といふものを認めなかつた。
處が十八世紀の前後から非常な變動が起つた。それは亞米利加の獨立と佛蘭西の革命であつて、自分の屬國が反抗して獨立したといふ事は、英吉利に於ては男といはず女といはず社會問題に注意する樣になり、これに續いて佛蘭西の革命が自由平等の思想を非常な勢を以て齎らした。遂に英吉利の婦人達は從來の地位に不滿足を感じて來た。之は歷史上の大事件であるが、同時に經濟上の影響が甚しく貧民に迫つて來た。戰爭の結果物價が騰貴し、貧民が殖える、藥餌なき病人棄兒などが出來て來る。斯ういふ方面の救濟はどうも女の手でなくてはならぬ。遂に今迄室內にのみ引籠つてゐた婦人は社會的事業に手を出し始めた。或は牢獄を巡つて囚徒を慰問し將來を世話するといふ樣な事も起つて來た。これ等は有力なる地位を獲るやうになつて來る大なる要素で、內外の事情は自然と彼等を自覺に導いて來たのである。

（二）ヴイクトリア女皇即位前の形勢

一八三七年に出たミセス、オールストンクラフトの『婦人の權利の擁護』は實に英吉利のサフラゼットの元祖である。此人は亞米利加人と結婚して棄てられ、悲慘な境遇に陷つて既に死なうとする處をオールストンクラフトといふ文學者に救はれて、遂に其妻となり、そして此著述が出來たのであつて、其間に生れた娘が、彼の文豪シエレーの夫人となつてゐる。此本の大體の主張は、第一婦人の個性を認めよ、女の特性を發揮せしめなければならぬ。第一女は人間である、我々は女である前に人間である。それを今迄の男子は始めから終り迄女にして其間に鴻溝を設けてゐる。女子であつてもその個性を充分に發達せしむれば、哲學者にもなれる文學者にもなれゝば政治家にもなれる。立派な女を作るには國會議員になつて女を其壓迫から釋き放ち、其特性を充分伸展せしめなければならぬ。それには先づ議員の選擧權を獲得せなければならぬ。經濟上の獨立を圖り、女性の地位を高めねばならぬといふのである。此等の議論は其時代にあつては實に破天荒であつた。世論は沸騰した。極端な思想として甚しく迫害せられ、時の警視廳からも睨まれた。併し此人は事實上に於て女よりは少しは男の方が偉いと考へてゐたらしい。

ヴイクトリア女皇の即位頃の英國は、誠に述ぶるが如く一大變動の時代で自由思想は翕然として天下を風靡し、哲學上にも、社會上にも論議せらるゝに至つたのであるが、會々此氣勢を高調したのはバイロンの自我の思想である。即ち習慣に囚はれてはいかぬ。自我を立つて進めといふバイロンニズムは、冷い哲學でなく、燃ゆる詩である丈に影響が甚大であつたらうかと思ふ。それと共に十九世紀の科學的文明は此頃に及んで各種の機械的事業が勃然として起り來り、女から內職を奪つてしまつた。女は家の中にのみゐるべきものといふ思想と、生活を助くる內職とは何等の矛盾もなかつたのが、器械の發明で大工場が出來、家庭から內職を奪ひ、永い間家にのみ閉ぢ籠つてゐた婦人達に一大打擊が與へられた。習慣を持して內職に離れ生活難と戰ふべきであるが、家庭を出でゝ女工をして働く可きかといふ岐路に立たせられた。そして結局生存の爲に如何なる準繩規矩をも墨守する事が出來なくなつて、蟻の甘きにつく樣續々工場の門をくゞつた。そして男の職工と仕事を共にして、女も亦男と同じ能力のある事を氣附いて來た。自覺の機運はかくして下層の社會にも萌芽した。けれ共此れは下層社會のみにて

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

止まる事が出來なかつた。經濟問題は中流社會にも遠慮なく浸入した。いつ迄も親の脛ばかり嚙つて居られなくなつた。乍併這に糸つなぎや機織も出來ないので勞力を要しない體裁のいゝ方面に行くべき道を見出した。即ち看護婦であるとか姉妹であるとかいふ方面に彼等は走つた。そして自分達の能力を自ら悟り、社會にも示して來た。

以上はヴイクトリア女皇即位迄の形勢であつた。そして此女皇の即位は今迄の歷史が示す通り、女の地位を高めた。女で天子の位にも即くといふ事實は婦人達の自尊心を導いた。それと共に女で社會を動す事の出來るといふ例が其眼前に展開せられた。クリミア戰爭に從軍したナイチンゲールの偉勳は彼等を聳動した。そして忽ち看護婦の學校等が出來た。又文學界にもエリオット、ブラウニンクといふ樣な立派な女流文學者が出る、一方にはメリース、イプセンの樣な人達が女の自覺を呼び起した。

（三）參政權要求の理由

如斯にして彼等は遂に起つて選擧權を要求した。今日盛んに暴れてゐる參政權論者のいふ處はかうである。

女も人間であり、男に選擧權があつて女に之がないといふのは如何、世の中が男と女とによつて成立つてゐる以上は、女の社會を代表するものがなくてならぬ筈ではないか、男子の觀察力が如何に明敏であつても、女の社會を充分に會得する事は出來ない。貴族は勞働者の社會をすら知らない、況んや男子が性を異にする婦人社會を代表する事に於てをや、殊に今日の社會にはミゼレブルが澤山ある。先づ第一に娼婦が澤山ある。男子は之に對する措置を充分に講じて呉れない又は貧民であるとか孤兒であるとかいふものは、女が救はねば到底良好な結果を收むる事は困難である。離婚の問題もさうである。男には夫人の姦通といふ事だけで離婚請求の權利があるが、女子には男が他の婦人と關係を有する以外に、自己を虐待するといふが如き二つの條件を具備しなければならぬといふ。斯かる不公平を除却するにはどうしても選擧權を得なければならぬ。職業に關する報酬の割合もさうである。男と同じ仕事をしてゐるのに男子の方が賃金が高くて婦人は著しく安い、斯ういふ樣な事はすべて、男と女とで成立つてゐる社會を男子ばかりで法律規定を定むるから起るのであつて、自分達に都合のいゝ樣にのみ偏するのは當然である、そこで我々は選擧權を要求するのであるといふ。

又婦人達は男子と同樣に皆税金を拂つてゐる。茲に亦彼等の論據がある。税を出す以上は女にも選擧權を與へなければならぬ。選擧規則には家を持つてゐるもの、地主、借家人、(部屋借を含む)それに大學の卒業生といふ事になつてゐる。此條件に適合する婦人は恐らく二百萬人位はある、女で政治上に出るのは家庭の平和を亂すといふものもあるが、現にヴイクトリア女皇は如何であるか、御婦人の身を以て大權を掌握し給ひ、クリミア戰爭の如き大事件すら起つたけれども、而も之によつて少しも家庭の平和を亂し給ふ樣の事はなかつたではないかといふのである。

此論にはいつも男子達も困るやうである。一體選擧權の規

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

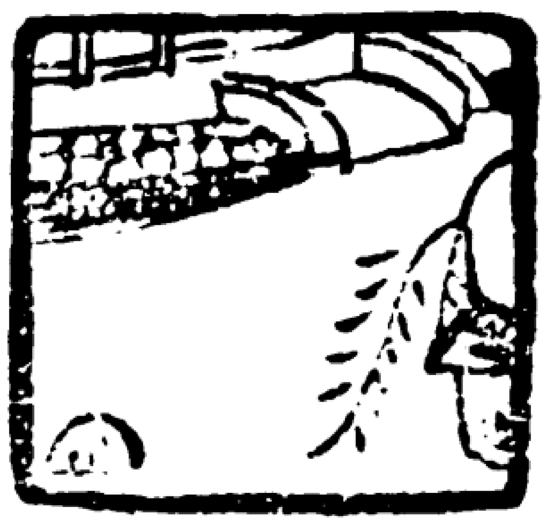
定には男子といふ限定がなかつた。一八三二年から矢喧しくなつたので、議會に於て此時始めて Male person（男性）と限つた。これから婦人が反抗し始めたのであるが、一八五〇年になり法律の上に於ては Man の中には Woman も含む、選擧規定の方の Man の中には Woman を含まぬといふ事になつたから、税金は出して選擧權はないといふ事になつて了つた。或法律學者が同情して此 Person の改正案を提出した。之は第二讀會迄行つたが遂に失敗に終つた。於茲女の激昂は甚しく、マンチエスター、ロンドン、エヂンバラ等に續々反抗運動が起り、それが聯合して三百餘萬人といふ多數に上つた。會長はヘンリー、ホーセット夫人である。

《四》戰闘派の壯觀

英國では各大學とも女の入學を許してゐる、其外女の學校は益々殖え、醫師、敎育家等色々な方面に發展し、町長、市會議員等に女の選擧權を有し、貧民救助等には大活動してゐるが、唯此議會の選擧權のみ獲られない、今日迄請願した數は數十回に上つてゐるが、辛く第二讀會迄行つたのが僅に八回にしか過ぎないので、急激派は躍起となつて、ミセスハンカーストを仰いで戰闘的婦人解放の一團を起した。ホーセットの方は亂暴はせぬが此ハンカーストの率ゆる戰闘派は紫と白と靑の染分の旗を押し立てゝ亂暴れる。商店の硝子窓を破壞するとか、大臣の邸に爆烈彈を投ずる、巡査を毆る、此指揮官は例のドラモンド夫人で、肥馬に跨つて威風堂々トラフアルガースケーアとかハイドパーク等に澤山のサフラゼットを率いて指揮してゐる處は實に壯觀である。英皇戴冠式の時の如きは、悉く白の服を着けたサフラゼットは、例によつて總指揮官ドラモンド夫人が馬上豐に悠然と打たせると、續いて廿四五のローヤルといふ美人が總司令部の旗を押立てゝ、幾萬の同勢は四哩半程あるアルバートボーンに先鋒が着いた頃漸く後の方が出發點を歩き出したといふ位、そして夫が夫人の外套等を持て其行列の側について行く等は實に奇觀である。

此ミリタントの亂暴は、決して人命に危害を加へぬ事になつてゐるが、巡査にだけはよく毆る。運動の方法も餘程巧妙で日本のモッブ式ではない、日比谷等に通り合せやれ〳〵と石を投げるやうな事とは違ふ。ちやんと全市に亙つて部署が始めから定つてゐて、マッフに金槌を握つた手を入れてそ知らぬ顔して、一人づゝぽつり〳〵彼方の辻此方の角といふ風にしてゐるから、少しも人の注意を惹かぬ。それが六時の議會の鐘が鳴ると、それが合圖になつて全部一時に金槌を出してそこらの硝子を破壞する。斯ういふ有様であるから警察も困る。偶々捕へて牢へ入れるとハンガーストライキをやる、絶食をして怎んな御馳走を持つて來ても一切食べない、そこで止むを得ず縛つておいて口を無理に押開き、ゴム管で牛乳を流し込み挽肉を注ぎ込むといふ様な厄介をしなければならなくなつた。處が之がまた人權問題だと矢喧しい攻撃が起り放つておけば餓死する恐れがあるから、餘儀なく釋放する事になるといふ有様でどうも手がつけられない。

此は舊式の家庭に育つたものからは家庭の平和を破るものであると云つて蛇蝎の如く忌まれてゐる、併し政黨問題からは獨立して、政治家でもアスキスは反對論で、ロイドジョージは同情者である。此頃は亂暴益々甚しく屢々拘引されたりしてゐるやうであるが、早晩彼等に凱歌のあがる機運に向ひつゝある事を私は茲に預言し得るのである。



夫婦の妥協

廓清會顧問　伯爵　大隈重信

◎最新の頭を持て

私は世の中に七十年も經驗を有つて居る男である。女さんの頭に這入つた事がないから御婦人の御考と齟齬するところがあるかも知れぬ。

御婦人の事に關しては昔から研究されて居るが、男ではよく解らぬ、哲學者も立法家も長い間これを研究して居るが解らぬ、況んや私の僅七十年ばかりの經驗で解らう筈がない。

それに反して御婦人が男子について研究なさつたと云ふ事は昔から聞いた事がないが、恐らく昔も今も、女も矢張内々男について研究して居るのだらう、併し女はさすがに男の氣に障るやうな事を發表しないのであらうと思ふ。

近頃新らしい女とか更に眞新婦人とか申して大分變つた婦人も出て來た、そしてその婦人の手になる雜誌の書き方が御役人達の氣に入らぬため、お役所から雜誌屋が叱られて居るやうな新聞の報道である。

新しい女と云ふが、これには女が男より先に出る譯はない昔から女が先に出ると世の中が亂れると云つて居る、故に新らしい女の出る前に新しい男の出てるに相違ない、そこで新らしい男と云ふのはどんなものであるかと云ふに、所謂ハイカラ、即ちハイカラと云ふものが新しい男ではあるまいかと思ふ、けれどもこれは冷笑の意味を含んで居るのである。

吾が輩などは身體は古いが、精神や思想は最新式である。常に進化する新らしい男である。宇宙間の新らしい學術と思想とは、皆この頭の中に無線電信を以て通じて來る、この最新の頭を以て人間と云ふ觀察から公平に婦人の問題を批評研究して見ようと思ふ。

それについては看過すべからざるは結婚の問題である。婚姻の歴史を調べて見ると、一番最初には雜婚をして居た、即ち好いたものと隨時に結婚をする、誰とでも一寸結婚をして直に別れてしまう、だからして昔の子供には母親はあつても父親は分らなかつた、父は子供をこしらへてどこかへ往つてしまう、實際どの男が子供の父であるかさへ分らなかつた、だから男には妻子を養ふと云ふ義務の觀念もなかつたので、實に野蠻極まるものである。

次には一婦多夫の時代、第三には一夫多妻の時代、それか

ら今日の一夫一婦と、かう進化して來たのである。勿論今日も一夫にして數婦を蓄へてるものもあるが、それは文明國になく文明におくれた國にある、歐米より日本の方が後から開けたので、即ち少しおくれて居るからこの弊風が多少殘つて居る、支那はなほ甚だしい。

◎似たもの夫婦

結婚をして子を産み、これを育てるのが道德の根本であるでなければ今日も昔の如く雜婚をして居なければならぬ。眞理と云ふものは水の流れ〳〵て太洋にそゝぐが如く、その落着くところに行かねばならぬ。

孔子の曰く、君子の倫は端を夫婦に發すと、實に眞理である。國の元は家である、家のもとは夫婦である、人倫の端夫婦に發すとすれば、人類社會の進歩のためには、この夫婦なるものゝ妥協を必要とするのである。

政友會が政府黨と妥協したと云へば甚だ聞えが惡るいが夫婦の妥協は大にいゝ。女が家を治めて子を生んでこれを育てる、これは一方には社會に對する義務である、と共に家を治め子を生み子を育てるに、必要な衣食住を妻に與へることは男子の義務である、女が自分の義務を自覺し、男がまた自分の義務を自覺して働くに於て、始めて文明の夫婦と云ふ事が出來、人類社會が進歩して行くのであつて、これがほんとの共稼である。

そして一の家に同居する以上は、また互に讓り合ふと云ふ事がなくてはならぬ、さうして互に讓り合ふ長い間には夫婦が似て來る、似たもの夫婦とよく云ふが、この似たもの夫婦を多くつくりたいのが吾々の希望である。

かくの如く人倫の端はこれを夫婦に發するとし、また男女の義務の自覺、夫婦の妥協を要するにあらざれば本當でないとすると、今の新らしい女などの云ふやうな思想は果して進歩してるものと云ひ得るであらうか、彼の人々の云ふところでは好きな時に一緒になりいやな時に別れる、所謂太古の雜婚時代に返らうとしてるのではあるまいか。これは大に考へねばならぬ事かと思ふ。

平穩の行手に幸福なし

女子商業學校長
廓清會評議員　嘉悦孝子

一般に近頃の婦人は、己れの分を知ると云ふことが缺げてるやうでありますが、これはたしかに教育者の罪であらうと思ひます。

去年の秋でした、私共の學校の前に運動會でもあるものと

見え、小學校の生徒の一團が集つて居ました。私はフト教室に行かうとする途でそれを見たのですが、花のやうなその美しさに思はず足を留めてながめました。花のやうだと思つたのは、黄に赤に紫に色樣々のリボンであつたのです、またその着物の華やかに模樣の美しい事と云つたら、それは〳〵何とも云へぬ位でございます。

あんまり近くに寄つては見ませんでしたから、その地質は何だか克く分りませんでしたけれども、何でも物は餘りよくないやうです、新モスか、ガス位のところでしたらうが、その模樣のはでやかな事、これを見ても當今の母親達が、どんな點に意を用ひて居られるかゞ解るでありませう。即ち品物は惡くても、見たところの華美なものをと云ふのです、成程謂はゞ一面の進歩ではありませう、けれどもそれは充實した進歩ではありません、外見の進歩であります。

子供の方でも着物をかざり華美を競ふやうな心で學校に行つてるのではありますまいが、そして三つ兒の魂は百までと申しまして、この心が段々に體と共に成長して、所謂强烈な虛榮心となるのではありますまいか。

○空だのみ.

畏れ多くも昨年七月彼の事あつて以來、一時人の心が落着いて來たやうでありました。私はその時分出雲の山の中に行つて美しいものを見て來たのであります。何しろ山里の事でありますから婦人が參り御話などするのは私が初めてだと云ふ位で、多少物珍らしさでもありましたらうか、どうも集つた方々の皆さんが熱心なのには驚く程でございまして、話す方でも思はずそれに釣られて長くなると云つたやう、誠に誠に心を强くされました。都は輕佻浮薄でも田舍には健實な考へを持つた婦人があると、つく〴〵賴母しく思ひました。

その後東京に歸りましてからも、一般にしつとりとした風を見まして、あゝこれで今日までの弊風が改つて來るかと、悲しい中にも希望を持つて居ましたがそれも空賴み、またまた今日では元のやうになつて來ました。

○どんな着物でも眞如の月は眺めらるゝ

今の若い方は何物をか得やう〳〵とあせつて居られるやうに思ひます、それを物質の力に依らうとなさるので、何時迄經つても見出す事が出來ない。どんな着物を着て居ても、どんな生活をして居ても眞如の月を眺める事が出來るのであります。月影の至らぬ隈はなけれどもながむる人の心にぞすむと申します。實にその通りで、いづこに居ても同じ月であるのに、影の暗いものかの如く、他の物質に依つて理想の月を探し出さんとあせつて居られます。

私の知つてる老夫人に、今は御子さんや孫さんに取り圍まれ羨やましい樂しい生活をして居られる方がございますが、その方だつて初からそんな幸福な方ではなかつたので、大酒家の夫に仕へ、夫の死後は立派にお子さん方を育て上げなさ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る、それ迄の苦心と云ふものは、それは〳〵一通りではなかつた、その努力の結果として今日はそんな幸福な自分になられたのであります。

モ一方私の實に羨やましいと思ひますのは、小田原在に居られる尼さんでございます。この方も幼少の頃から不幸な方で、繼母の手に人となり、嫁に行つて夫と共稼でやつと家を建てたかと思ふと、火事に逢つて全燒になり、再び家を建てる事が出來たと思へば夫は肺病で三年の後死んでしまはれました。その時殘つたものは繼母と四千圓の借財であります。

その時、この方は大に決心されまして、モ一度今の悲境を引きなほさねばならぬ、若し中途にしてその決心のにぶるやうな事があつたら私を癩病にして下さいと神々に祈願をかけられましたのです。そして努力の結果夫の十三回忌には立派にその四千圓を返してしまはれ、紅葉館で回忌をされたのですが、その時夫の位牌に向つて、あなたのあの借財は今日只今すつくり返してしまいましたと云ふと、その時夫の位牌が動いたやうに思はれたとの事でございます。そしてその席で髮を剃つて尼になつてしまはれまして、今日では羨やましい清い生活を送つて居られます。

かう云ふ方々の例を見ましても、事の成るはその成るの日に成るのでない事がよく解りませう。

○默つて居て尊敬されるやう

幸福と云ふものは無爲にして出來るものではありません、苦しみの多いのが軈て樂しみを多く生むのでございまして、無事平穩の行先に幸福はないのです、その樂しみあるにかゝはらず、何故今の若い方には努力する事なしに、只欲しい欲しいとあせらるゝのでございませう。先の事を見ないで現在の幸福ばかりをのぞまるゝのでございませうか。

これは一つはたしかに信念がないからであります、笑ふものは汝の笑ふに任かせ、罵しるものは汝の罵るに任かせよ、天我を知るなりと云ふやうな信念がないからであります。これ等精神上の不安は、これを道德や宗教にまたねばなりません。

また身體の要求卽ち衣食住の要求より來るものを救ふには經濟思想を養はねばなりません、家の富は國の富、家を富ますは女に經濟思想を養成しなければなりません。

ですから一向に道德や宗教に依つて精神を修養する必要あると共に、また一方にはこの經濟の方面にも女の才を向けねばなりません。そして臺所をよくし、家庭をよくし、子供をよく育て、尙ほ餘りがあつたら、夫の手助けをするのがいゝのでございます。さうしたならば女は默つて居ても尊ばれるやうになります。婦人にこの實力さへあるならば、何も權利だとか何だとか騷がなくても、人は自然に尊敬してくれます。女は默つて居て尊敬されるやうにならねばならないと思ひます。

女子教育は富源の開發也

日米交換教授　メービー博士

女子の高等教育は惡影響を與へるであらうといふ樣な議論は、嘗ては亞米利加にも起つた、即ち高等教育は女子を家庭から引き離し、彼等の社會性を亡すといふ事が論せられた。今日に於ては勿論そんな弊は無いといふ事が明になつて、寧ろ之を如何にして進む可きか、如何なる方法、又は理想を以て大成すべきであるかといふ事が問題なのである。

△亞米利加に於ける女子教育

米國にはスミス、ウエルズリー、ヴアツサー、ラッドクリッフ等の著明な女子大學があり、男女共に教育する専門學校が澤山あつて、彼のカンサス大學の如きは、六千人の生徒中二千五百人の女子を有してゐる有樣である、又女子専門學校と男子の専門學校とが聯合してゐるハーバードのラドクリフと、コロンビアのボアーナードの樣なのもある。此等の學校では傑出した女子は進んで専門學を研究せしめ、教育上大なる便宜を與へんが爲に公から洋行を命ずる事もある。

亞米利加に於ては、教育を受ける事には極めて熱心で、凡ての階級の一習慣となつて居り、少女は其兄弟と同じ樣に専門學校へ行く事は通常の事となつてゐる。女子の教育も大體科目が定まつてゐるが、種類が多いので科目を選擇する自由が與へてある。思慮の深い亞米利加人は子女の天分を見出さうと努め、若し特別な傾向が表はれると、教育も其傾向に從つて施して行く、而して教育の目的は智識を與ふべきものに非ずして、力を發展すべきものだと信じてゐる。即ち事實を以て心を充たすのでなく、心を鞏固にし活力を與ふるのである。故に子女を教育するには其心を如何にして用ゐるかを教へるのである。

△女子教育の誤れる理想

米國には天然の富源の保存(Conservation of natural resources)の爲に幾多の人士が盡瘁してゐる、或は森林、或は河川等天然の資源の培養保存を研究して居るが、婦人といふものも亦いはゞ大に培養すべき一種の天然の富源である。之に高等教育を與へ、其能力を發達せしむるのは、正に國家を富强ならしむる淵源であつて、他の自然力に勝るとも劣るものではないといふ事に歸着してゐる。

さらば女子教育の理想は如何なるものであるべきであらうか、吾人は此間に答ふるに當つて、先づ誤れる理想を擧げ、

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

之を檢覈して見たいと思ふ。

誤れる理想の第一は女子を男性的(Masculine)に敎育する事である。男性的な女子は女性的な男子と等しく決して望ましいものではない。女子を敎育するのは女性の特長を發揮せしめんが爲である。元來男女兩性の差別あるは、兩性の間の關係を趣味あらしめんが爲のみにあらずして、相互の特性を發揮して相和し相助けしめんが爲めである。恰も晝がよいか夜がよいかと問ふの甚愚なる事なるが如く、男女兩性は優劣を論議すべきものに非ず、相互の特長が琴瑟相和して人生を圓滿ならしめ、社會を幸福ならしむべきものである。

第二に誤れる理想は女子を貨殖主義(Commercialism)で敎育することである。富を得たいといふのは今日の處殆んど世間一般の目的となつてゐるが、此商賣主義は人間を卑陋ならしめるものである。之れに反して精神的敎育を施す時は人格は自ら高尚になるのである。金を儲けるを目的とする樣な敎育では決して眞正の文明を望む事は出來ない。

△女子の學校の最大なる價値

我々の偉大なる敎師は必ずしも偉大なる學者たるを要しないが、アガッシスの樣に學問と思想の鼓舞者でなくてはならぬ。眞の敎師は詰め込む機械であつて、活氣のある人格であつて、其人格が生徒を自由にし、自ら考ふる事を奬勵するのである。

斯かる敎育を、亞米利加の女子は自ら考へ、自身の生涯を自由に實現せしむるやうにして居る、彼女が自身の天職を果す大なる自由を享樂してゐるのは、歐洲の女子以上である。彼女は充分に尊敬を拂はれ、また保護せらるゝ社會に居り、社會の習慣によらずして、自己內心の主義によつて自己を支配してゐる、それで彼女の發する疑問は、他人が如何に考ふるかに非ずして『何が正しいか』といふ事である。習慣は屢〻一の主義に基いてゐる事があるが、時には外部的な、專斷的な事もある。而して佛蘭西や日本の樣に習慣が大切な事もあるが、亞米利加では餘り大切でないとして居る。これ女子は他人に對して廉潔、正義なれといふ內心の法則によつて自己を支配してゐるからである。

自由に發達しようといふ理想は、彼等に廣大な興味を與へるのである。彼等は科學書を播き、彼等は又新聞紙を讀み、世界の事件に興味を持ち、倶樂部(學校の)では社會問題が論議せられる。かゝる心の習慣は、兄弟や父や夫の友となり、讀書や談話によつて家庭に善良な空氣を送り、これが自然に子女を敎育する樣になる。彼等は子女の勉學を助け、啻に其身體のみならず精神にも注意して、常に其友となり、子供等と共に若くなり、子供等は母と共に進歩して行くのである。

最も善良な婦人の品性と精神には、美しい敎育の感化が潜んでゐる。斯かる母は最もよい敎育者である、我等は女子の學校の最も大なる價値は、聰明にして遠大なる思慮ある母なるべき敎育を、施すにあると信ずるものである。

雑誌の雑誌

○宗教

●基督教と家庭生活

植村正久

▲家庭は王國なり。王國はルツソオの民約論の如く、容易く改廢し得る倶樂部にあらず。家庭は所謂天の命之を道とするものにて、人の恣に造り、また壊ち得べきものにあらず。氣紛れの仕事にてはあらざるなり。神の思召に從ひて最も嚴かに設けられたるものなり。神の權威の行はるゝところなり。

家庭は學校なり。夫婦、親子、兄弟、姉妹、主僕等家族の關係は、學校に於けるが如く、互に學び、互に訓練せらるべきものなり。

▲家庭は神の宮殿なり、禮拜所なり。主人は家の祭司なり。約書亞紀二十四章十五節に曰く「汝ら若しエホバに事ふることを惡とせば、汝らの先祖が河の彼邊にて事へし神々にもあれ、又は汝らが今居る地のアモリ人の神々にもあれ、汝らの事ふべき者を今日選べ。但し我と我が家とは共にエホバに事へん。」言何ぞ勇しきや。家の主人が妻子眷族を率ゐて健全なる發達を遂げしむべき責任を感じ、之を貫徹せしめずんば已まざるの概あり。「但し我と我が家とはエホバに事へん」自ら率先して宗敎を奉じ、以て家族の模範たらんとす。妻子には信仰を勸むれども自らは之に注意せざるが如き無責任なるものにあらず。家長たる道德上の威儀を具へ、堂々として犯すべからざるものあり。一家の主人たるものは、固より家族に迫害壓制を加ふべきにあらざれども、此の如く眞面目にして動かす可らざる決心と威儀なかる可らず。(福音新報)

●文藝及評論家の宗教觀を論ず

新人社説

三月號の早稻田文學誌上に相馬御風氏の「現代藝術の中心生命」を讀む。而して吾人は其の中に、「不安動搖せる生活を全體として統率すべき生命力」の切なる要求の聲を聞けり。是れ必ずしも御風氏一箇の要求に止まらざるべし、恐らく

▲現代藝術家全體の裡に流るゝ大なる努力ならん。數年前に起されし自然主義の文藝による文壇の活動後、實に驚く可き沈滯萎靡の狀態と成りはてゝ殊に文藝家其の人々の空虚は轉て寂寞の感に堪へざらしめたり。斯くて新しき道は當に開かる可き也。而して啻に御風氏に限らず、今や一般に「力の宗敎」「力の藝術」を追及しつゝあるは、明白なる强き潜みたる事實にして、具眼の士は能く其の將來を豫見するを得べし。されど御風氏が藝術上の未來派の運動を讃歎せんとするを觀れば、日本の藝術は再び誤まれたる道を辿らんとするを恐る。

彼のヒューチュアリストなる者は、要するに近代文明の複雜と、夫れに現はれたる强大なる自然の威力とに狂せるのみ。近世文明の中に藏せられたる自然の征服力に對して、無理なる反抗を敢てせんとする爲めに遂に狂せんとする徒也。吾人は彼等の要求を壯なりとす。されど病的なる者に眞理は決して其深き祕を語らず。衰弱せる文明人の神經は激烈なる刺戟に亢奮し、而して其の緊張は極限を越えつゝあり。故に若し其の進める道を改めざれば將に狂して亂する乎、或は燈火の自づと消ゆるが如くなるべし。斯くして彼等を待つ者は糜爛と敗頽と死とのみ。而して之を救ひ得る者は唯一なり、即ち健全にして文明と戰ふ事、而して文明を超越し、之を征服すること也。而して之を可能ならしむるものは、御風氏の棄てたるオイケン等の

▲精神生活の高調こそ却つて之を遂げん。愛に現はれたる强大なる生命の發動こそ眞に一切を征服して餘りある力也。

御風氏の爲せる宗敎の要求、即ち「私達の眞に求むる所の宗敎は、現代生活そのものゝ建設の爲めに、及

びその可能の信念の爲めに、何物の犠牲をも惜まざる底の、勇敢なる實行的飛躍者に於てのみ求める事が出來る」。といふ聲は、吾人の最も傾聽に價する要求也。されど氏は未だ宗教の眞の實體、眞の生命を掴み居らざるが如し。其の宗教觀は甚だ幼稚也。唯之を力あるらしき文學を以て巧みに云ひ表はせる迄の事也。恰も足無き幽靈の如き神を信じたる時代の宗教意識に似たり。何となれば其の所謂「力の宗教」なるものは何等の根柢をも有せず、其の力なる概念の極めて原始的なるは氏の爲に之を憾みとす。

〇思想界

◉文藝と教育

金子筑水

文藝と云ふことは色々な風にとるが、余は文藝がいかなる

▲感化を人生に與ふか と云ふ一方面について述べたい。藝術、即ち廣い意味の藝術は我々の自分と云ふものの皮相よりも奥の方にもつとつよく深く感化を與ふるものである。藝術は必ずしも智識に訴へぬ。否藝術は第一に感情に訴へる、吾等の奥の方に潜んでゐる或物に影響する。第二、藝術は吾等の直感に訴へる。吾等の奥の方に潜むものにしてもつと廣い意味に云へば本能に訴へるのである。更に切言すれば藝術の影響は吾等の奥の奥深い處にまではいつて行くのである。如斯藝術は實際に感情、本能、衝動に動き實際に信仰して居るよりは、其影響は淡いものに違ひないがしかし、兎に角つよく深く影響するものである。此點から吾等はかう云ふことが出來る。即ち「藝術の影響は吾等の平常考へるよりも強く、恐らく論理學よりは強いものである。又廣い意味で我々の様々の方面に訴へると云ふ點からも、我々が普通に考ふるよりも、もつと強いものである」と。茲に於て藝術と教育との關係を考へ見るに、廣い意味の

▲教育は藝術と密接な 關係をもつてゐる、茲に廣い意味の教育とは、我等の一生が常に教育者であつて、同時に被教育者であると云ふ意味である。例令ば美しい自然を見ても、吾々は意識しないが、常に何等かの教育をされてゐると同時に吾等も亦意識しない時には他の何物をか教育しつゝある。前にも述べし如く藝術は吾等の皮相の奥に潜る或物に常に影響するのである。(善悪如何は別問題として)しかして、其影響たるや全くさう云ふ方面の事を思はぬ人の心よりも實際に於てはつよいのである。或人は教育と藝術との關係を云々すれば、直に口を開いて、藝術は人の趣味性を高めるものであると述べたてる、然るに文藝々術の人生に及ぼす影響は、そんな狹い趣味性所のことでない。趣味性などは或は低めることも、あるかもしれん。藝術の本領はその人の感情、直覺、本能に訴へ隱れたる我に訴へる所にある。之れが兩者の關係の大事なる所である。(基督教世界)

◉新哲學

慶應義塾教授　河合貞一

▲實際主義は 本來は認識論で、效果に依て眞理を定めんとするのである。從來の學説は眞理を以て絶對不二のものとして居る。實際主義は之に反抗して實際上効果の多きものが眞理である。吾人の實生活に役立つものが眞理である。世に所謂絶對の眞理は無いと主張する。故に生命を根本とするから生命の哲學とも稱する。從て吾々の理智は生命の道具に過ぎないと稱して理智を重ぜず。吾人の感情意志——即吾等の行爲の源泉にあるものを重んずる。依て反理智の哲學とも云はれるヘーゲルの理智主義とは全然反對である。卽ち實際主義は生命を根本とし、生命の進化を主張して居るのである。

▲ベルグリンの哲學 の特色は直觀主義にある。從來吾人の認識は理智にありと稱せられたが、彼は認識は理智に由るのでなく直觀にありと主張して居る。理智は物と物との關係をつけるけれども物その物を知ることは出來ない、理智の生じたる科學は認識の問題なる生命を解決することは出來ぬ、實在せる生命を説くには即ち吾人の直觀によらねばならぬ。吾人の精神生活、意識生活は進化し發展し、吾人の生命は宇宙の大生命に合すべきものである。實在といふ流れは絶えず盡きることがない、過去の全體は現在の瞬間に集つて居る——之の實在が即「生命」である、そこに宇宙の大生命がある、之れ即ち直觀に依てのみ解すべきであるとして居る。

▲獨逸のオイゲン は遠くプラトン、アリストーテレス、近くカント、フイヒテの影響を受け此に新唯心論を唱へて居る、彼は歴史に立脚して所謂人生哲學を説いて居る、即ち自然的の生活を脱して精神的生

活を主張する、此の精神生活は自己の生命のみならず自己を離れたもの、進んで精神的生命の統一を說いて居る、換言すれば自然主義を超越して一段高い所の精神的生命――新生命を求むるものである、從てオイケンは眞の自由、超越を以て新生命を建設し精神的生活を要求して居るのである。(警醒)

(學海)

◉統治權の主體

法學博士　上杉愼吉

▲君主の權力は人民保護の權力なるが故に、統治權の主體は君主に非ずして人民であり、君主は人民の役員機關であらねばならぬと云ふは、民本主義と民主主義とを混同したものでありて、其の他近來一般に予の國體論を攻擊する人の主旨とする所は、天下は一人の天下に非ず天下の天下と云ふ考よりして、君主一人の利益の爲めに存する統治ではないから、君主一人を統治權の主體なりと云ふべからずと云ふに歸するかと考へらるゝ。然しながら此は明かに誤解である、權力の利益を享くる者目的の歸する所(利益目的と云ふが如き語を用ゆるは不適當なれども分り易きを期する爲めにかく云ふ)は誰であるかと云ふこと、又は權力を行使する者の心掛けは如何に在るべきかと云ふこと、權力其の者を構成する意思の主體は何人であるかと云ふことゝは明かに區別することが出來る。國體論として君主は國權の主體なりと云ふことは、倫理上民本君本何れなりやと云ふことには關係はない。統治權存在の論理的理由より云へば民本であるべきものであらうとも、其の意味をば直ちに國權の主體は君主に非ずと云ふことは出來ぬ。法律の形式論のみから云へば人民の利益を眼中に置かざる君主と雖も君主と云ふことが出來る、倫理上正當なるものでなくとも國體の形式は君主國であり得る。我が國に於ては古來天皇は法律上

▲完全なる統治權の主體でありて、兼ねて倫理上正當なる統治者であらせられた。之れが我が國の宇内に誇るべき所であり、西洋や支那の君主が法律上不完全なる君主であり、倫理上不正なる統治者たるの價値なき者でありしに比較して、國體の精華なりと予が常に述べて居る所であるが、我が天皇は御一人の利益(と云ふべきものあらば)の爲めに統治せらるゝものに非ざることは、我等も常に說きて居ることである。然れども統治する意思の主體は天皇御一人の外には無いのである。されば天皇を統治權の主體なりと申すのである。君主國でありて民本主義と云ふ統治の精神と民主と云ふ國の構成とは異る民本なるが故に君主が統治權の主體に非ずと云ふことは出來ぬ。

◉所謂國體に就て

法學博士　美濃部達吉

▲統治權の主體が、國家であるか、又は君主であるか、[illegible]ことは、統治の作用が國家の目的の爲に認められて居るか、又は君主御一己の目的の爲に認められて居るか統治の行爲は法律上より見て國家の行爲であるか、又は君主御一己の行爲であるかといふ問題である。語を換へて言へば、租稅を取り立てるのは國家の權利であるか、又は君主の權利であるか、法律は國家の意思であるか、又は君主御一己の意思であるかといふことが問題の別るゝ要點である。

斯く問題を明瞭にするならば、統治權の主體は君主にあらずと申しても、それが日本の國體に反し、又は日本の憲法に矛盾するといふ非難の生ずべき餘地は無からうと思ふ。

國家が統治權の主體であるといふことは、決して或る特定の一國又は敵國に付いてのみ言ふのではなく、總ての國家に付いて言ふのである。苟くも國家といふ性質を有つて居る以上は、民主政體の國でも、立憲國でも專制國でも、此點に於ては皆同樣である。國家が統治權を固有する團體であるといふのは、

▲抽象的に汎く國家といふ世界普通の現象を見て此普通の現象に對して下された定義で、總ての國家は皆之に當て嵌まるものでなければならぬ。一國の憲法とか國體とかは、其一國だけの問題で、他國の憲法を其の儘に自國の憲法に適用することも出來なければ他國の國體を以て自國の國體を論ずることも出來ないが、國家は何であるかといふ問題は、總ての國家に通ずべき問題であつて、或る特定一國にのみ特有な定義の有り得べき筈は無い。若し或る一國には適合するが、他の國には適合しないとか、西洋の諸國には當て嵌まつても、日本には當て嵌まらないといふやうな定義ならば、それは決して正當な國家の定義とは言ふべからざるものである。

序に尙一言して置きたいのは、主權といふ語である

主權といふ語は本來最高權 といふ意味である、習慣上いろ〳〵の違つた意味に使はれて居るが主權が君主に在りとか國民に在りとかいふ場合の主權は、最高の權力又は最高の權限といふ意味である。

即ち君主は統治の權利主體と見るべきでなくして、統治の最高權限の主體、即ち主權者と見るべきものである（東亞ノ光）

〔社會〕

◉不良少年

高師教授　乙竹岩藏

▲家庭が原因 不良少年の生ずる原因は主として家庭の影響によるもので、プロシヤの不良少年調査では、百分の五十四は紊亂した家庭に育つた者だと云ふ事であるが、次に不良少年には比較的私生兒が多いといふ事である。又貧富の比較をすれば矢張貧民に不良少年が多く、飲酒との關係は始終德利の轉がつてゐる樣な家庭では、夫婦喧嘩が多いから其弊は自然に子女の上にも及び、また性慾から來る父兄の不品行も無論飲酒と同樣の惡影響を少年に與へる。不良少年の特徴としては虛言が第一に多く、また左程でもない事に怒鳴り散らして暴れ廻る樣な時もある。復讐心も同樣で猜疑嫉妬から極端な復讐的行爲に出る事もある。竊盜は最も多く、曾て新嘉坡の監獄に於て調査した時も、彼處は殆どあらゆる人種が集まるが不良少年の罪人中で矢張り竊盜罪が最も多かつた。放火もまた不良少年の特徴の一つで、それから梁山泊を理想としてゐる者も多く團體を組む事も其の特徴の一である。

▲性質の洗濯 不良少年を如何に處置するかといふ事になると、世界の大問題で、刑罰しないで教育すること、即ち教化主義に依る事が第一で、不良少年の根本的救濟は性質を洗濯するにあるのだが、保護主義、豫防主義などの方法もある。從來は不良少年が生ずると多くは之を見棄てたので、これが爲め惡いものが益惡くなつた。されば見棄てるよりも保護し豫防する方が肝要である。要するに不良少年の教育學的取扱は、適切な教訓を與へ、規律ある生活に習熟させることで、作業を與へ生產の基礎を教へることが肝要である。（讀賣）

◉人道史と風教

文學博士　遠藤隆吉

社會の變遷は其表面に現はれ來る所の各種の現象の叙述を以て之を知るべしとするも、殊に忘る可らざるものは

▲人間性情の發達 若くは變遷なり。性格の變遷が社會各種の事情に伴ふとは言へ、一面より見れば社會各種の現象は性情に由りて影響せらるゝは言ふを待たず。近くは德川氏の滅亡の如き遠くはローマの興亡の如き極めて顯著なる事例と謂ふべし。故に歷史を叙述するに當りては最も意を此に注がざる可らず。即ち賄賂、情實、畜妾、動物保護、離婚、破廉恥罪、其他乃至人道問題等の社會の惡的方面が或は統計的に或は叙述的に討尋せられざる可らざるなり。兎に角人は表面を見て裏面を顧みず、表裏の使ひ方の甚しきは獨り封建時代のみにはあらず。文明の裝飾は

▲公娼の存在を 許さゞれども社會の道德は毀譽以上なるものあり。教育の場所に於ては神聖を保存すれども他の所に於ては濁流に混じて而かも世人之を怪まざる一身兩刀の使ひ分けは人間として矛盾する所なきか。社會の進歩は人格をして愈々社會に沒却せしめんとす。之れと同時に愈々社會に於て其の光彩を發揮せしめんとす。自我實現說の勢力ある今日に於て歷史が人物の全方面を現はすべきことは當然のことゝ謂ふべし。即ち政治の方面に於て、學問の方面に於て將た又其他の方面に於て、某人の社會に貢獻したる功績は固より之を認めざる可らざると同時に、其人の社會に流したる害毒も亦之を認めざる可らず。古來の名將賢宰を歷觀すれば眞に國家の干城となり柱石となり、泰山の安きに致せし者あるべしと同時に、殘酷なる行爲をなして社會に惡影響を及ぼし

▲花柳の巷に出入し て以て社會の風俗を紊せしが如き、道德に違犯し人道を蹂躙したるが如き行動も亦之れあるものあるべし。社會の目的は人格の完成に在り。圓滿なる人格の發展は歷史の標準とすべき所なり。去れば政治戰爭學術技藝の如き社會一部の目的人間の一方面を滿足したればとて之を以て直ちに善人となし、歷史的に褒揚すべき人となす可らず。一面に於ては如何なる害毒を流せしか、此の方面より之を觀察することなかる可らず。此くしてこそ始めて歷史を讀むで人物の全局を見るを得べけれ。孔子春秋を作りて亂臣賊子恐るといへるが、人道史の設立は又實に社

會の風教を維持する一端なりと謂ふべし(實業之世界)

○談叢

㊀靈魂の表象に使はれたる蝶

帝國大學教授 理學博士 石川千代松

蝶は花の蜜を吸うて生きて居るので、花は蝶の食物であるから、蝶と花との關係は日本人と米の樣なものである。で、蝶は花間に飛んで居ること〻、その翅が多くは如何にも美麗であるところから、往時より蝶は何か他の動物とはちがつて、一種特別なものである樣に思はれて居た。本邦でも蝶は

▲靈魂の化身である と云はれて居たやうである。昔或るところで午睡をして居た男があつたが、この人の鼻孔から一疋の蝶がとんで出たから、之を捕へて置いたところが、彼は何時までもねむつて居た。しばらくたつてから、此の蝶をはなしたところ、蝶はいそいで又此の人の鼻の孔に飛び込んだと思ふと、彼はたゞちに起き上つて「嗚呼苦しい夢を見た哩」と云ふたとの事である。之は日本の話であるが、西洋でも同じやうに蝶は魂であると思はれて居た。ギリシヤのプツケーは靈魂であるし、蝶であるし、又アモールの愛女で非常な美人であつたのである。その生れて來たことについても、却々面白い話がある。ポンペイの破滅した時に燒死した彼の有名なプリニウスは蝶の發生に就いて下のやうに云つて居た。

▲菜の葉に落ちた露 に日光が輝くと、之が小さなイモムシとなつて、遂に蝶となつて、飛び出すのであると。此のやうな話は今から見ると實にあと形もない事であるが、此の當時はまだ他の動物の生れて來る事に關しても此のやうに考へられて居たのであるから、靈魂の樣に思はれて居た蝶は、固より、天からでも下つて來たものであるとされて居たのは自然のことである。併し蝶は露から出來たものではない、又その美麗な蝶も我々人類の目を樂しませるためのものではない、卵が生長して蛹となり、蛹から蝶がとび出すのはつまり蠶と同じ事である。(新家庭)

㊁米國に於ける日本婦人

バチエラーオブサイエンス 司谷學人

東京に歸つた時に最も面白く可笑しく感じたのは娘共がオデコを二重にした樣な髮の結び方をしてることであつた。町を通るものは女中も御孃樣も猫も杓子もであつた。

▲前髮を帆掛け船 の如くに高く前に膨らまして突き出してるはいくら流行だつてあんまりだ。西洋では娘共が髮を結ふのに餘り流行といふものに拘泥しない。顏の形體の姿勢等に依つて全く髮の結び方を變へる。變へるに就ては各々工夫を凝らすのが常である髮一つ結ふにも歐米の婦人はかく自分の個性を發揮せんと力むる。其傾向は殊に米國婦人に於て甚だしいのである。こんな所に行つて日本の女見た樣な個人的特色のない一山百文的な婦人が出掛けて行つて見たつて發展し得やう筈がない。大に發展するには個人でも國民でも男でも女でも何か特色特長といふものを持つて居て其特長を發揮せねばいかぬ。特色のない個人的色彩のない所が日本婦人の特色だと云ふ人があるかも知れないが、そんな人間は今時の世の中では片ッ端から排ねられてしまふ。だから一體にして日本婦人は米國に於て發展し得てゐないと云ふことが出來る。只日本の婦人の中で多少發展し得てると思はれるのは

▲酌婦藝妓淫賣の類 である。これだけは東は桑港より西は哈爾賓浦鹽斯德に至るまで繁榮を極めてる。浦鹽には四千人餘の日本人が居る。其内半數以上は婦人で、其又半分は酌婦藝妓娼妓である。其で堅氣の婦人で夫を助けて本當の意味に於て發展せんとする者迄が露西亞人支那人に見下げられ侮辱を受けることがあるさうだ。米國に於ける日本の女にも醜業婦が比較的に多いので、米國婦人の日本婦人の道德に對する評判は好いと言ふことは出來ない。近來新聞紙などは桑港當りに日本人の間に行はれる寫眞結婚はモルモン宗を復活するよりも惡い。石器時代の蠻風を米國に輸入せんとするものであると言ひ出した。這麼事から米國婦人は日本の婦人等頭から尊敬しない(趣味)

㊂大阪にはノラが澤山居る

上司小劍

汽車に一緒に乘合はしても、東京の女の方はツンとすまして居られますが、大阪の婦人は

▲何所と無く愛嬌 を示して居ます、之れは何れも土地柄なのと見えまして大阪の婦人が東京に來て、一二年も經つと段々東京式に尖つて來る。

大阪の婦人は表面優しく尖つて居りませんけれども一面に強い所を持つて居ります。彼のイプセン劇の「人

形の家」が大阪の女に對して、東京の女程に衝動を與へなかつたと云ひますのは、それは大阪の女はノラの樣な婦人を何とも思て居ないからです。

◎氣持のいゝ交際振

男爵夫人　目賀田逸子

何と申しても行き屆いて氣持ちのよいのは、西洋人の交際振りであります。どんな心配のある時でもまた少々身體の具合の惡い時でも、西洋の婦人は不愉快な氣持を面に現はしませぬ。喜怒哀樂を表に現はさない點は誠に感心です西洋人は訪問を受けた時に、お客樣を樂しませて歸す樣に勉めて居ますから其間は一人で居る時と別人の樣に快活に話したり笑たりいたします。日本の婦人がお客樣に對して打ち寬いで話をしないのは、矢張交際を重んじないからでありませう。どうも心配事のある時などは、さなきだに元氣の乏しいのが、益々意氣消沈して、接する人々まで不快の念を懷かせます。(大正婦人)

(○修　養○)

◎教訓を責道具に使ふ勿れ

農法學博士　新渡戸稻造

讀者も必ず僕と同じ經驗があるであらうが、兎角に他人の我々に與ふる

▲**忠告や訓戒は** 我々の身に取つて甚だ見當違ひである如き感を與へる事が多い。老人等が態々と吾人の身を治むる道に就て說いて吳れゝば、此オイボレめが此維新前の話をして居る哩と、馬耳東風と聞き流す事が多い。又吾人の眞情や實況を一通り心得て居る友人が懇切に我々に何か忠告する時にも、やゝもすれば此男がまだ〳〵俺の腹の中を知らん哩、何と見當違つた事を言ふものかと、腹の底で笑ひたくなる事もある。又我々が論語や聖書を讀み萬世不朽の金言と稱せらるゝ教訓に觸れても、甘い事を言ふて居る、此訓は某に聞かしてやりたいものだと、己の身に當て嵌めて考へるよりは、他人に應用する心地する事がまゝあるものだ。故に少しく油斷すると聖人君子の言葉を用ひて

▲**他人を責むるの道具** とする事がある。されぱこそ他人を僞君子と呼び、不忠不義と罵り、或は說教するに聖人の句を引用して人を罪する如き面白可笑しい事が兎角あり勝ちである。かういふ風に、他人が吾人の爲めに與ふる訓戒も友人が精神より述ぶる忠告も、先賢が血を流して教へた大義も、自分の身の上には直接當て篏まらないやうに思ふ事の多き所以は、一つには自分が之等の言を充分に味ふ境涯に達しない故である、又一つには忠告する者が吾人の境遇を充分知らぬ故である。(實業の日本)

◎老人も新らしき思想を養へ

女子學院長　矢島楫子

近頃は新らしい女とか、醒めた女とか申して、それが善いの惡いのとなか〳〵世間が八ケ間敷樣ですが新らしいと云ふも醒めたと申すも要するに

▲**進歩の階級の** 一段を登つたのであるから、執るべき點は同情して爲る發展することに勉めてやるのは社會の義務であらうと思ひます。又私は教育を受けた女子が時々家庭の人となつて圓滿をかくためしのある事を見たり聞いたりいたしますが、これはいちがいに嫁の罪であるとは斷定が出來ないと思ひます、新らしいものと舊いものと時々相容れないのは理の當然でありませう。この二つのものが圓滿に步を揃へて行くには、如何したらばよいでせうか、私は舊き思想を持つて居るもの卽ち老人が新しい思想を發ひ時勢に後れないやうに、この社會と云ふ大きな學校で、一生懸命に勉強をするのであると思ひます。(大正婦人)

(○家　庭○)

◎自由放任

早大教授　安部磯雄

若し私共が善良なる親であるならば、何も

▲**殊更に躾け** 抔を施さずともよくはあるまいか子供は何事によらず大人に倣ふ者であれば

▲**善良なる人の子** として善良なる者の出づるは當然である。で、人の親たる私共は、先づ自らを修養して「お前達は私に倣へ」と、言葉でなく實行を以て子供に示したい者である。かくてこそ始めて、自由も放任も意義を生ずるのであつて、斯かる教育を受けたる子供こそ、眞に自主獨立の有爲なる人物となり得るのである。(婦女界)

◉簡潔にせよ

與謝野晶子

私は比較的實行の仕易い物質的方面で無駄な複雑な簡潔に致す事からお奨め致したいと思ひます。第一は

▲臺所に手數を省く　事です。日本人は太して美味い物も喰べぬ割に臺所の建て方が贅過ぎる、從つて戸棚の中にも棚の中にも不用の臺所道具が澤山に入れてある、東京はそれ程でもないが、地方へ行くほど臺所が大きくなり、平生遣ひもせぬ鍋釜が場所を塞ぎ流元が床の間の三倍にも相當する家があります。それで日本の婦人は朝早くから夜の更ける迄臺所に入浸り煮炊と膳椀の後始末と拭掃除とに大切の一日の時間の大部分を空費してゐます。さういふ勞働に堪へ得るのを從來は賢母良妻の資格の主要なる部分とし女學校などでもそれを奬勵して家政科を重んじ過ぎてゐますが文明國の婦人は斯ういふ無駄な勞働を避けて、成るたけ手輕に濟ます工夫を回らし、それから得たる時間を他の有益な勞働即ち精神的の勞働に利用せねばなりません。

次に簡潔に致したいのは

▲衣服です　平生に着もしない癖に又さう外出もしない癖に澤山の着物を欲しがつて、無駄に簞笥に仕舞つて置くのは宜しくない習慣です、着物欲しさに隨分見苦しい煩惱も起し、金錢を徒費し、簞笥が殖えればその置場所に苦んで大きな家に住まねばならず、盜難や火災に氣苦勞せねばならず、その着物が何時でも着られるかと言ふと長くて三年も經てば最う流行遲れになつてしまひます。衣服に費す心遣ひと金錢とを婦人自身の精神教育に用ひたらどんなに聰明になつて、男子との協同生活にも、子孫の教育にも多大の利益があるか知れないでせう。（新家庭）

◉子供の褒め方

東洋幼稚園長　岸邊福雄

子供は幾ら教へても忘れるからといつて、短氣を起さず、

▲根氣よく教　へなければなりません、そして其間に褒めると非常に効きめがある事があります。しかし幾ら褒めるのがよいといつても、子供の實際の力とあまり掛け放れたことをいつては、何の役にも立ちません。なるべく子供の實力に接近してゐなければなりません。

早い例で馬でもわかります。馬は氣が弱いから、坂へ差しかかると必ず止まります。その時馬丁は馬から下りて手綱を取つて歩きますが、あまり馬から放れ過ぎると、極まつたやうに止まつてしまひます。それですから、馴れた馬丁は、坂道にかかると、馬とスレスレに歩きます。

それと同じやうに、小學校に通つてゐる子供に、優等になれば洋行させるといつても効きめはありませんが、中學を終へ、高等學校を終へたぐらゐの子供に優等になれば洋行させるといへば、必ず効きめがあります。（婦人世界）

◉節操なき人と節なき竹

文學博士　前田慧雲

今日男子に於ても女子に於ても

▲人間に節操　を見る事が出來なる程の有様になつて來た。之も時勢の爲であるかも知れぬと思ふのであるが、吾々の眼から見ると男子も女子も殆ど節操が無いのである。先日此の節操の無い話をした所或人が、「節操も昔と今とは大分かはつたやうであります」と云ふたので自分は、「其かはつた節操とは何か」と尋ねると其人は、「サアそれは何か知らん」と答につまつたのである。人間に節操の無いのは竹に節の無いのと同じである。節の無いのは竹では無い。人に節操が無ければ人では無い。自分の勝手な都合のよい方へのみ行くのは犬や猫と相距る遠からぬもので所謂牛頭馬面の類である。之は感情にひかされるからである。故に人は自己の守るべき道を確く取つて進んでかねばならぬのである。（警醒）

◉貞操を完うするの道

コーツ博士夫人

或種の人は婦人は

▲貞操を嚴守　するのに都合よく出來て居るが、男子には種々なる誘惑が烈しいため、少し位の間違があつても、之を許されねばならぬと辯護する人もありま

すが、恐らくこれ程不合理な話はありますまい、男子の貞操は守るのに困難が多いから、その不品行をも許さればならぬといふのは、體力に於ても、意志に於ても、強きを誇る男子、殊に婦人の擁護者たるべき責任ある男子に對しての、一種の侮辱ではありますまいか。

とは申しますものゝ、人の力は實に弱いものです如何に男子が強いとは申しましても、大なる誘惑に對して勝つことは、非常な困難です。夫れ故に、常に誘惑を征服して

▲清く身を持して 行くといふには、大なる力に頼られればなりませぬ。此に於てか信仰が必要になつて來るのです。

◎果して善い事である

棚橋絢子

男女共に同じ人間であるならば、男子のなさるだけのことを女子がしたとて、何も咎めだてされる譯のものではあるまい、と。

これは一應道理あることの樣に聞えますけれども、深く立ち入つて考へて見ますと、根本に於て大に間違つて居ることが解ります。男子も女子も同じ人間であるといふことを考へる前に、先づ第一に考へればならぬことは、世の我儘なる男子が、屢々細君を取り換へて、猥りに女子の貞操を蹂躙するといふことが、果して善いことであるか何うかといふことに就いてゞ御座います。若しこれが善いことでないと致しますならば何も然う強ひて之が向ふを張つて迄も悪い事をしなければならぬといふ道理のあらう筈がないではありませんか。（婦女界）

（◎臺所）

◎安價で滋養分のある食物

醫科大學病院 醫學士 村地長孝

▲牛乳などは 殆んど迷信のやうに、特別の効能のあるものと思はれてゐますが、これは、特別の場合の外、健康な大人にさほど有益なものではありませんつまり牛乳は犢を育てるためのものだからです私が實際試驗したところによると、東京で賣つてゐる油揚一枚（一錢）は、中ぐらゐの鶏卵一つと同じ値がありますし、中形の飯茶碗に一杯の米飯は、一合五勺の牛乳に相當した値があります。なほ三十匁の油揚は、十匁のと同じくらゐの値があります。今まで世間で非常に滋養があると思はれてゐた鶏卵や牛乳の三分の一か四分の一の値段で、それと同じくらゐの値あるものが手近に幾らもあるといふことは、これでも解ります。それに、人間の身體に必要な蛋白質や、澱粉や、脂肪分などは、

▲野菜のうちに 十分ありますし、青豆などは、蛋白質を多く含んでゐるから肉類の代りにもなるし、澱粉を含んだ野菜をも兼れてゐるのです。脂肪といつても、牛の脂や豚の脂に限るわけではなく、安い油揚や落花生で十分代りができるのです。（婦人世界）

最穩健なる進歩思想により青年女子の指導に任ず

創刊明治三十七年

女子青年界

十巻五號（五月一日發行）

東京市牛込區田町三ノ一二

日本基督教 女子青年會發行

一部五錢 一年五拾錢

振替東京貳參七貳參

◎皮や心で氷水の種を作る

櫻井女塾長 櫻井ちか子

大抵の人は、桃や林檎を食べる時に、皮を剝きますそしてその皮や心は捨ててしまひます。どうかすると田舍の人などで皮ごと食べてしまふ人もありますが、普通の人は食べません。ところが、その

▲皮や心は決して捨て るべきものではありません。私どもでも、初めのうちは皆捨ててをりましたが、私は食べられないからといつて捨てるのが惜しいやうに思はれて、何とかして利用する方法がないものかと考へた末に、それを煮出して見たことがあります。すると、その汁は桃や林檎の匂がします。それに砂糖を入れて、もう一度煮立てます。そして、冷めた時に氷を加へますと、桃なり林檎なりの汁ができて、おいしく食べられます。（婦女世界）

娘の將來と母親

三輪田高等女學校教頭廓清會評議員　三輪田元道

△學校でどうかして下さるだらう

今更の事でもないが世の多くの母親は注意の行屆かないところがあると思ふ。と云ふのは娘を學校に入れてしまうと、「學校でどうかして下さるだらうから」と云つてモウ自分の任務は終へたかの如く思ふ。一體教育の目的は善良なる習慣をつくるにある。その良き習慣が長く繼續して行くとやがて人格となるのである。而して其善き習慣をつくるには、家庭と學校と何れがよきやと云ふに、それは無論家庭である。學校教育と云ふものは、家庭教育の足らないところを補ふためであつて、實を云ふと家庭で教育が完全に出來るなら學校と云ふものは、不要なものである。それが思ふやうに出來ないからして女學校と云ふ機關も出來て居るのであるが、世間の母君方は思ひ違ひをして居られる。學校が本位で家庭が足らない點を補へばいゝのだ位に思はれてゐるのは甚だ遺憾だと思ふ。

或は世間一般にそんな考を有つて居るのかもしれぬ。だから若し若い女が墮落をして世人に後指さゝれる場合には、直に何々學校の出身だと新聞などでも第一に書くのである。そして其れを墮落せしめた所以の家庭教育の如何はこれを對岸の火災視するやの傾向がある。

△一つの道場

次に教育の本旨は善良なる習慣をつくるにあるのだから學校も亦出來るだけ家庭的であらねばならぬ、設備も、事務の取扱も生徒の訓練も、凡てが家庭的でなくてはならない。恰かも區役所で戸籍調べでもするやうに試驗の答案を書かして點數をつけて、それを以て足れりとするのは教育でない。

學校は家庭的であると共に又一つの道場である事を承知されねばならぬ。身體に於ても精神に於てもこれを鍛錬する一つの道場である。それをともすると、家で贅澤をさしてゐる子供の母親は、やれ學校に行つてお尻がひえるだらうと云つては直に學校の腰掛の非難をし、ストーブがないと聞いては寒からうとか、夏ならばこんなに暑いのに困るだらうなどゝ云つて俥で娘を送り迎へしたりなんか、自ら進んで娘が柔弱になるやうな事ばかりして居る。それでもつて娘を愛するの道だと思つて居られるのは大な間違で、眞に子を愛するものは、子供を強くしなければならぬ。學校は一つの道場であるから、多少寒暑の刺戟に堪へ得るやうに訓練するのである。

△地位をくつつけて學校へやるな

それからまた、學校と云ふものは平等の教育を施すところである。成程人間は

世に貴賤上下の別はあるがまた一方には平等の思想を養ひ平等に教育さるゝ必要があるのである。即ち學校と云ふものはその平等の教育を施すところである。だから金持も貧乏なものも區別はしない。地位があつてもなくても生徒たる娘に關係はない。それを少し家柄のいゝところでは「うちの娘はこの位の事はしてもいゝだらう」と云ひ、低いものは亦「うちぢや貧乏だから皆さんと同じにそんな事は出來ない」と云ふ。

こんな風に家庭の地位と云ふものを、どこ迄も娘にくつつけて學校にやつて貰つては困る。

△不精を捨てゝ世間を紹介せよ

又申したいのは娘と云へどもいつ迄も子供ではない、相應の年になれば一人前の考がある。この際いつ迄も子供扱ひにして、あまり干渉してはならぬ。或程度までは自由を與へねばならぬ。例へば金錢の取扱でも矢張少しづゝ得さしてやらねばならぬ。それかと云つて任かしたまゝ放つて置いては駄目だ。日本の母親は全く娘にお小使を自由にさせぬか、さもなくば渡し放しで、これを監督して行く事をせぬ。全く取扱はせないのは世間に遠ざかる恐があると共に又やりつぱなしはそこに弊害が生ずるのである。

啻に其事ばかりでない、一體日本の母親は不精である。敷居の外に出た事がないと云つて誇とする位であるから、娘を外出させるに自分がつれて行つて監督してやると云ふ事をしない。でなければ一さい出さない。これは兩方ともよろしくない。母親たるものは娘が相當の年になつたなら、自分が即ち身を以て先んじ娘を伴れて行つて親類や知己朋友の間に娘を紹介し、其娘の性質趣向などを認識して貰ふのが至當である。そして娘に世間を紹介し、世間を見せ、世間を經驗させる、即ち世間學人間學と云ふものは母親監督の許に會得させねばならぬのである。それを全く家庭の外に出さないで世間知らずにしてしまつたり、又は監督者もなく自由に外出するのを打捨つて置いて、誘惑にかゝつて初めて氣がつく、その時はモウおそいのである。

△めんどりの如くあれ

だから私の切に望むところは――學校に出したからと安心しないで、世間學と云ひ人間學と云ものは教育家の手では到底出來ぬものであるから、その點は家庭の母たるものが氣をつけて、娘の生涯の幸福のために盡してやらなければならぬ例へばめんどりが其雛を保護監督しつゝ始終啄むすべを、先に立つて敎へて居るやうに、人の母たるものも骨を惜しまずこの事に心掛けて貰ひたいことである。

而して家庭に於ては其家庭相應に、斯樣の方面の教育に力を盡され、均一的、平等的の教育に至つては學校がその責を負ひ、兩々相俟つて理想的の若しくは理想に近い婦人を、養成したいものである

○廿世紀の男女(阪本正雄著)

著者は統一教會の會員で、滿二十歲の青年である。此書はつまり著者の宗教觀、人生觀男女觀、時勢觀などを纏めたものである。四六版百餘頁の小冊子に過ぎないが、二十才の青年にしてこれだけ、自己の思想をまとめ得るといふ事は、誰でも出來る技能ではない。其思想も頗る健全で、敢て江湖に推稱する。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

眞面目なる生活

女子高等師範學校教授　宮川壽美子

△至誠の二字が一番大切

此間加奈陀の或大學の總長で、六ケ敷い名前の、八十許りな隨分德のありさうな方が私の學校に見えました。何でも總長を四十年、敎育宗敎に盡瘁せられます事六十年に近いといふ事でしたが、若い人達が並んで居るのを見て、『私は八十にもなつて皆樣の樣な方々を見ると、一種異樣の感に打たれる』と仰せられました。

私は其仰しやつた口振りや、御樣子から察しまして、此若い美しい人達は何にも知らずに虛榮の夢に憧れてゐるであらう、自分も此年格好の頃は、あゝいふ考を有つてゐては失敗した、斯ういふ企てを起しては成功した、といふ樣な事であつたらうと思ひました。果して言葉をついで仰せられましたのに『私共の一生の中青年時代は色々の考が起るもので、先づ第一に逢着しますのは生活問題でありまして如何にして名譽を贏ち得るであらうか、如何にして富貴や地位を得べきであらうかと思ひ煩ふのであります』とて聖書の例を引き、キリストが三十にして此世に出られた時、惡魔に試みられました事を擧げて、私共にも一樣に名譽や榮華を以て惡魔の誘惑が迫つて參ります。そして誰しも其榮華を如何にして得るかを思ふでせう、併し私の八十年の經驗に徴すれば、一番大切な事は至誠を以て此世の中に盡すといふ事で、之を先づ目的として行けば必ず希望の彼岸に進み行く事が出來るものである』とてキリストの例を擧げ『身分は唯大工の子で、たつた三年間の說教に過ぎず、廣さに於ても東京から日光、幅さは東京から甲府位の僅な間でありますけれども、其敎は世界に遍く、永遠に續いてゐるのであります、世の中に立つて行く道は、唯誠實の二字であります』といふ樣なお話がありました後で怎麽生活をすべきであるかと伺ひますと Simple life, Good life, Pure life と斯うお答へになりました。

△卒業の後迄も着纏ふ

以上は極要領だけでありますが之を聞きました時は恰度心の食物に飢ゑてゐる時でしたから、一層何とも云へない愉快な充實した心持になりました。Simple life (質素な生活) Good life (善き生活) Pure life (純潔なる生活) といふものは怎麽貧困でも怎麽隅つこでも出來る事で、誠に私共が眞面目に生活を考へさせられた事を此時非常に喜びました。

私共は生徒を澤山に預つてゐまして、年々卒業生は方々の學校に奉職して參りますが、其中で「誠實」な人は常に成功して居ります。敎員を周旋して呉れと申して參ります時にも、誠實な人でありますと『あの人は少し氣の利かない處はありますが人物は確です』と直に纒りますけれども、『彼の人は學問は優等で誠によく出來ますが、少しどうも人物が……』と申す樣では纒る事も出來ませぬ。

又學校に居りますと、よく奧樣の周旋を頼まれますが、やはり是とても『彼方はよく出來る上に精神が伴つてゐます』と、大威張りで候補者に推薦も出來ますし、『成績は中程以下でも精神は極いゝ方です』と、申す事も出來るのは私共にとつても嬉しいものでございます。

斯う云ふ風に卒業の後迄も、いつ〳〵迄も着纒ふのは精神の問題であります。

△今の女學生は上の空

私は文部省から方々の學校の視察を命せられまして、各所に參りますが、どうも此頃の生徒は上の空であるやうに思はれます。

割烹の實習を致しまして、料理が出來上ります、それはお上手に行はれてゐるかも知れませんが、後の掃除が充分に行屆いてゐる學校は滅多にありません。假へば俎が倒れかゝつてゐやうと、七輪が歪んでゐやうが、醤油が垂れてゐやうがお構ひなしで歸つて行く、御飯の櫃の中は洗ふけれども其周圍は一向磨かれず指の後が着いてゐる。鍋の蓋にはお露が垂れたまゝである、釜の蓋には噴き出した糊が着いてゐる。

無學な女中のは器は眞白に磨かれ、金具はぴか〳〵光つてゐる。學校の生徒は衛生も理科も知つてゐる、家事などでは殊に清潔といふ事を矢喧しく敎つてゐる等でありますのに、洗濯をさせても盥の裏や足などには汚く泥が跳ねた儘で一向平氣で居ります。水道にしましても其柱はいろ〳〵な飛沫の爲に蕎麥粕のやうになつてゐる、其捻は眞鍮の光はなくて薄黑く錆びてゐる、斯ういふ事に氣がついて、灰や磨粉を以て綺麗にしよう等といふ心掛は更にないのであります。二時間なら二時間何か煮た後で、重箱に入れて歸る時、誰か一人位は振返つて、金杓子の轉がつてゐるのを直すとか、鍋の蓋の歪んでゐるのを正すとか、釜の蓋の指跡を洗ふといふ眞面目な人があつてもよさゝうなものである、唯の一人も斯ういふ處に注意する眞面目な、誠實な人がないといふ事は何といふ情ない事だらうかと熟々思ふのであります。

勿論生徒ばかりの罪ではありません、敎師の訓練の至らぬ點も責めねばなりません。斯ういふ事では我國の女子敎育は餘り効果のあるものではないと思ひます中には實驗室が狹い事を耻られる學校もありますが、私にとつては其麽事は問題ではありません。それは學校の經濟に關する止むを得ざる事でありますが、此後片附けから得る精神上の訓練を、等閑にしてゐるのは見逃す可らざる處で、私は眞先に釜の蓋の指跡を注意しまして、それが綺麗に磨かれてゐますと、はゝあ此學校は敎師も生徒も確であると床しく思ひます。それが大抵はストーヴは眞赤に、燐寸の擦り殼は瓦斯の邊りに投げられてあり、床にはだら〳〵水が垂れた儘になつてゐまして、落膽致して了ひます。

何が爲に日本の陸海軍が世界に雄飛してゐますか、唯實に精神の尊いものあるが爲でございます、試に其臺所を見ましても身の廻りにしましても整然と美事に手入してあります。凡ての物を眞面目に取扱ふ此人格の修養があつて、始めて世界に誇り得る武士は出來上ります。家庭におきましても物事を少し眞面目に取扱ふ心掛がなくては、偉人はそこから生れなからうと思ひます。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

寄書

靑年と現代

會員 河野尹石生

私は一介の靑年であります。理想もあり希望もあります。然し乍ら私は無學であります、無智でありますのにも拘らず、靑年と現代と云ふ文士が學者等の言ひさうな題を前置きしました。少なからぬ無鐵砲でありますが私は前にも申し上げた通り、學者でもなければ智者でもありませんから說明は出來ませぬが、私の常に斯くあつて欲しいと云ふ、今一歩進んで斯うなくてはならぬと言ふ主張を述ぶるだけであります。先づ私は私自身を標準として述べて見ませう。

△

私は身不相應の希望を今日まで欲して止まなかつたのです、學者にあらずして學者の眞似がして見たい、至つて口不調法なに拘らず大道說敎然たる事をして見たいと欲する、靑年男子の決心、何出來ざる事あらんや、と決然意を堅くして居る內に又々不安の念に驅られて中止する斯く思ひ斯く案じ暮して居りました。然るに昨年幸にして貴會々員たるの光榮を得て末席を汚し、毎號彼の可憐極まる同胞の爲めにと不斷の御奮闘を經續せられて居る諸先生諸兄の高論卓說を聞き、或は讀みて自ら大に身の修養を積み以て御指導の萬分一たりとも報せんと決心堅く覺悟仕りました。

斯くなる上は私一個人の發奮は元よりなれど、此の心持を一人にても多くの者に廣めたい、多くの實行者を出したいからには、それ相當の方法と考案とを實現したい、之れが私の今日の希望、目的であります大方の諸先生諸兄よ、幸に御名案の御敎示を垂れ給はゞ又幸福何ものかこれに過ぎん。

△

私は先頃より大日本合理實行會なるものを組織して、地方より成功熱に浮かされて集まれる靑年子弟の聞いた話と見た儘の現在とを比較して、靑息吐息、苦學力行は身體の鐵の如く、又感觸の鈍ぶき身體の大切を度外視する者にあらざれば出來ざるものとなして（生活費は一人出來るだけの節約をして七八圓を要するに、朝早く一二時に起き風雨氷雪の差別なく牛乳或は新聞を配達して月收僅に八九圓）徒らに煩悶する下宿屋の二階、「懐中次第に空しく今更ら故鄕に何の面下げて歸られやうと燒腹となり、」職の如何に不拘履を低ふして雇主の門を潜る。斯くて向上なく發展もなく唯々衣食の爲めに使ばれつゝ、あたら有爲の靑年時代を暮す幾多の靑年諸君を、一人にても多く希望ある生活に歸らしめたいのが本會の希望であります。或は諸君の中にて御記憶もありませう、私が辻說敎をして居たのを。そして自由職業と云ふ印刷物を配布せし事あるを。

世の靑年諸君の爲に私は合理會の爲めに奮闘するのは元よりでありますが、廓淸事業のためにも大に〳〵極力奮闘をなする考であります。今の靑年は口先ばかりで實行が伴はないと言ふ事を時折耳にするが、之は靑年の罪か、時代の罪か抑も又先輩の罪か。靑年は第二の國民で國柱たるべきものである。之を導くのは先輩の務めであります。活動して當初の目的を（即ち先輩より受けた智識と自己復案の智慧とにて固めたる）達し樣と務めるのが我が靑年であります。然るに玆に此の時代と先輩の思想と靑年の思想との調和出來れば天下泰平なるも如何にせん、舊思想と新思想にて調和出來難きを如何せん。同じ時代の靑年さへも甲見て是なるもの乙非なりとなすがある。

△

故に吾々は同志相求めて大に我が黨の本義たる社會の廓淸を飽く迄經續し、飽くまで斷行して是非共其目的を必らず達せしむるやうに極力奮闘しませう。高山樗牛先生は言はずや「吾人は須らく現代に超越せざるべからず」と吾人は現代「社會の廓淸を飽く迄實行せざるべからず時代人を作るにあらず、人の時代を作るにあり。我れ廓淸の世を作らん哉。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

大阪 博愛社の事業

記者

世に親のない子程哀れなものはあるまい、假令親あつてもこれを保育し得られぬものは同樣不幸である。これ等無告の孤兒並に之に等しき貧兒を救濟する慈善事業は決して少くないが博愛社の如きは其成功せるものゝ一つであつて、元これ哀なる兒童を救濟し、實業的教育を授け、以て彼等の生涯を幸福ならしめんとの同情の一念、以て今日に至つたのである。

創立者故小橋勝之助氏は兵庫縣赤穗郡矢野村の人、明治二十三年一月實にその財產一切を献じてこの事業の基本とせられたのである。翌二十四年には彼の濃飛の震災があり、氏は卽ち被害地の孤兒救濟に力を盡し、着々其步を進められたが不幸にして二十六年三月病を得て永眠せられた。

されど令弟實之助氏亡兄の遺志を繼ぎ林歌子女史の協力を得て、故人の理想に從ひ、恰かも故人一週年の忌日を卜し、社業を大阪の地に移した。爾來五ヶ年、靜かに其計畫を進めつゝあつたが、漸次社寮の新築を必要とするに至り茲に初て社會に發表して同情を求むるに至つた。

三十年になつて、內外有志より數百圓の寄贈あり、現在の西成郡神津村に敷地一千二百坪を購入、更に老監督ウヰリアムス師の厚意により、東京にある、元孤兒院のために建てられたる約八十坪の建築物を寄附せられしにより、之を移して一群のもの皆この新社寮に入る事が出來た。三十二年には其筋の許可を得て、社團法人の組織となし、從來最も關係深き林歌子女史外十二名の人々を推薦して社員となし、小橋實之助氏を理事とした。

それより事業の發展につれ、社寮增築の必要は多々增々急となり、或は慈善會により、或は海外にある同胞の寄附により、其他篤志家の援助により、食堂、病舍其他の幾棟かの社寮を新築する事が出來た。又林歌子女史は救濟事業視察をかね同社資金募集のため渡米、在留一ヶ年半、其間集りし寄附金一萬六千餘圓を以て、基本財產なる土地の買收、並に敎會堂建築の資に當てた。

なほ兒童敎育のためには校舍の必要あり、これには臺灣地方に慈善會を開いて三千餘圓の收益を得、四十二年新築落成を見るに至つた。同年二月十一日、彼の憲法發布二十年紀念として、內務省より全國七十九の慈善團體に下附金があつたのであるが、博愛社は實に其第二位の獎選として六百圓を受けたのみか爾來年々助成金の恩典に浴しつゝある。又同年五月大隈伯の同情により、有樂座に於て慈善演藝會を開催し二千餘圓の收入を得たのは當時困難せる日常經費に多大の補助を與へられしと同時に、初めて東京の地に同社の事業を紹介せられ、發展上大なる利益があつた。

四十五年、大阪每日新聞社長本山彥一

氏は亡き令夫人の一週年記念のためにと寮舍一棟(價格二千五百圓)寄附建築せられ更に該棟家族一ヶ年間の經費のため一千圓の寄附をせられた。

こんな風で知名の諸氏の同情は一方ならぬものであつたが、又一方には、眞情のこもつた、古着一枚、シャツ一枚、或は漬物半樽、菓子一包、又は十錢廿錢の寄附金など、無數の世の同情にはぐゝまれ、又一方には同社産業部の收入によりあはれむ可き幾多の孤兒貧兒は養育せられつゝあるのである。

今昨年度に於ける出入の數を示せば

增		減	
棄兒	二一	緣組	二
孤兒	七	引渡	五一
貧兒	一七	自活退社	七
迷兒	五五	死亡	一二
準行旅病人	五	逃走	一二
合計	百〇五	合計	八四

表に示すが如く最も多數を占むるものは迷兒であるがこれは重に大阪市より委託されるのである。無論こゝに來るものは何れも悲慘なる境遇のものでないのはない。而して博愛社が創立以來二十二年の今日まで救濟したる兒童數は五百六十三名で、其內農業、工業、鐵道に從事し、軍人、公吏となり、其他相當の職業について既に獨立自活せるものが百三十三名、中途退社親戚父兄に引渡したるもの百五十一名、他團體に引渡したるもの四十三名、婚嫁せる者十六名、養子緣組者一名、逃走二十三名、死亡五十一名、それ等を差引現在々社監督內にあるもの百四十五名である。

さてこれ等の兒童は如何なる風にして養育されつゝあるかと云ふに、先づ大體の方針としては家族制度である。二十人乃至廿五人を一家族となし、凡て六家族であるが一家族毎に媬姆一名、助手一名を置いて專ら保育の任に當らしめて居る。尤も乳呑兒は里子制度を採つて、紀州伊都郡下に預けて居る。目下のところ三十一名であるが、預り親の慈悲のもとに何れも良好に發育して居る。其の地方にはまた隱れたる同情者もあり、假令金品の寄贈は出來ぬとしても、博愛社のために里子の口を探したり、里子先を陰ながら監督してくれる篤志家もある。

更に進んで兒童の教育のためには博愛普通學校と云ふを設けてあつたが、中學程度の學校に聯絡の都合もあり、その筋の許可を得て學則を變更し尋常小學校とした。今年四月よりは別に幼稚園も出來た。目下學校に出てるもの九十七名、內三十名幼稚園、八名は中學校である。其他教育の事に關しては社外貧民子弟のため愛隣學校を經營して居る。

又博愛社は實業的教育の終始一貫の主義の下に平日は兒童に實業を授けて居る。これは農業は自然を樂しみ、天然に接觸するの業なれば人の性狀を最も圓滿に發達せしむるからとの理由であつて、現に米麥の稼穡、野菜物の栽培、家畜の飼養をさして居る。十歳より十二三歳迄のものは狀袋の製造販賣に從事さして居る。これは多くの銀行だとか會社だとか或は新聞社などの注文を受けてるのである。

今は又産業部の發展を圖るために活版印刷の事業を開始した由であるが、これ昨年內務省から下附せられた助成金七百圓を資金としたので卽ち助成活版部と命名してるとの事である。

要するに博愛社は今日なほ發展の途上にある。將來に於ては適當なる地をトして農場を設け或部分の出身兒童を移して農業的殖民政策を取らんとの希望ある由この遠大なる志望の實現は蓋博愛社の努力と幾多同情者の援助に俟ねばならぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

貸座敷を廢業したる新宿の一樓主と語る

記者

府下内藤新宿三丁目十五番地、新美濃樓々主廣瀨廣氏(三六)は、父祖代々の貸座敷業を廢業したりとの事が、都下の新聞によつて傳へられたので、記者は一日閑を得て、風の強い日の午後其顛末を詳にす可く同氏を訪ふた。

新宿驛前の停留場で電車を降り、すぐ側の交番で聞くと、ほんの眼の前の赤煉瓦の西洋館と、電車の車庫との間の空地――既う取壞つてあるから――がさうだと敎へられた。

お晝迄は雨が降り、珍らしく雷迄もはためいてゐた天氣が、がらりと名殘なく晴れて、折から颯と吹き起つた旋風は、曲り角で柳の枝を飜して、灰色の砂埃の中にちら〳〵白い紙屑を交せた渦卷が見る〳〵空高く螺旋狀をなして捲き上つたと見るまにぱつと變つた風は警官と記者とに逆襲して來たので、驚いて二人は身をかはした、が此時はもうしたゝか埃を浴びてゐた。記者は肩の埃りを拂ひ乍ら『あゝ夏が來た』と思つた。

新美濃樓といふのは怎麼家であつたか、もう取壞れて了つてゐる。幾多の男を殺し、幾多の家庭を傷り、幾多の女の血を枯渴した魔の住家、新美濃樓は既に亡かつた。そこには大工が十人許りせつせと新しいそして正しい家を建つべく稼いでゐた。其材木の間を奥に進むと其處に同氏の住居がある、名刺を出して來意を述ぶると直に心地よく請ぜられた。

主人といふのは記者の豫想に全く反した容貌風采の人であつた、赭ら顏の、でつぷり肥つた、幅廣の縮緬の兵兒帶を無造作に前に結んで、胸毛の生えた懷もあらはな人であらうとの想像は大違ひ。見るから温良な、商人風の人で、極めて謙遜な態度で、頭を掻き乍ら語られたのは斯うである。

* * * *

廢めましたのは先月の始めで、なに動機の原因のと、そんな立派な、お話申上ぐるやうな事はございません。新聞には太したことのやうに書いてありましたけれども、役場に勤めてゐる等も私の親父との間違で、私はまだ何をしていゝか分らずにゐる位なものです。

娼妓は九人居りました。七人は住替へ二人は國に歸つて了ひました。尤も此二人は年期も殆んど明けて居ましたし、貸金も僅だつたものですから、親元と相談の上、本人の希望通り廢業して歸る事になつたのです。貸金は一人平均二百七八十圓位のものでせう。

廢業を思ひ立つたのですか、さうです•ね、決心をしましたのは、まあ其麼に古くではありません、廢業しようといふ考の起つた元?、吉原の中米さんは立派なお考であつたさうですけれども、私共などは……へえ、それは信仰と申す程の事もありませんが、まあ先祖から佛敎の方で……原因と申しましては、第一は病身でございまして、迚もあゝいふ商買に適しませんものですから、左樣です、夜は

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

更しますし、雇人達の監督やら何やら却々側で見て居る樣な譯のものではありませんからね、何しろあゝした不規則な生活は、私共の樣な身體ぢややり切れません。それとも一つはやはり不景氣で、收支が思ふ樣にならない點もありました。

同業者からの壓迫ですか、其麼ものは少しもありません。それに株なんといふ話もありましたが、廓の方は怎うか知りませんが、新宿では賣買は出來ない事になつてゐますので、いえなあに暖簾を潰したからつて怎うといふ事もありませんし家も何遍も修繕許りしてゐましたもので古いものですから壞して了ひました。左樣ですね、廢業はまあ近年には新宿ではありません、永い間休業してゐて廢ましたのは四五年前に一つありましたけれども、私共のやうな廢業は當地では近年にありません。

私共は此商賣は四五代前、凡そ八十年許りやつて居ました。嫌な商賣だと思ふ事もそれはありました。今度の廢業に就きましても親父を始め親戚一同誰も異議はありませんでした。色々原因もありますが、子供の教育の爲にならぬと考へましたのも、其主なる一つでせう。へえ家族は隱居してゐる親父達とも九人で、子供は五つを頭に二人ですが、模倣ばかりしたがる子供の行末を思ひますと、彼麼商賣は行つちや居られませんよ。

家内等も斯ういふ同業者からでなく、堅氣の家から貰つた者ですからやつぱり面白くながりますし、廢業に就きましては一番の贊成者といふ樣な次第で。今後の方針としましては、これといふ學歷もありませんが、樓の跡には貸家を建てまして、私はまあ或會社にでも出やうかと思つてゐます。併し商賣を止めましてから、何だか斯う、急に重荷でも下した樣な氣がして、喜んでゐます。

*　　*　　*　　*　　*

談は之で盡きた。新聞紙の傳ふる處によると、同氏は新宿町役場の助役で、相當の資産と勢力とを有し、多少新しい文明の空氣も吸つてゐる處から、貸座敷の如き商賣は人としてなす可からざるものなる事を悟り、樣々な障碍を排して、斷乎として父祖傳來の業を廢めるに至つたもので、抱への娼妓の如きも、住み替をなさしめるが如きは、同氏廢業の根本の目的と背反するものであるから、斷然之を解放して了ひ、幾千圓かの損害を弊履の如く放擲して、却つて衷心からの笑ひを洩らしてゐる。といふ樣な、吾人の血汐を沸き立たせるが如き嬉しい信りであつたから、悔悟の人の美しい聲が聞かれると豫期して行つた記者にとつては少からず失望であつた。が乍併動機は兎もあれ、原因はかくもあれ、斯ういふ樣な罪な惡業を廢めて、正業に就くといふ事は我々にとつては娼妓の自由廢業の訪れを聞くよりも、遙に大なる喜びを感ずるものであるから、此事實を報道する事とした。況んや氏の談話の中にも、子弟の教育であるとか、健康であるとか、それが空論でない丈に聽く可きものがあると思ふ。

記者は携へて行つた趣意書と、雜誌を呈して、同業者であつた人達に、これを讀んで、善果の爲にも、廢業を勸誘せられん事を懇々說いて立歸つた。

警察官と樓主の態度

記者

品川八ツ山下の電車停留所前と云へば往來である、其往來の眞中で、女の胸倉を捕へて衣類を剝ぐと云へば、事情は兎もあれ何人も其亂暴に驚くであらう。

品川新宿五十二開盛樓木村フク方娼妓鶴子と云ふは頃日救世軍士官の助力に依つて自由廢業を申請し、やつと名簿の削除が出來士官同道救世軍へ引揚げんと歸途その八ツ山下に差しかゝつたのであるすると其處に待伏して居た開盛樓の雇人坂田某外血氣盛りの若者二三人「ヤイ待て此奴太え女だッ」と躍りかゝつて有無を言はせず前後より女の衣類を剝がうとする。士官は女の胸倉をとつた暴漢の腕を逆捻に捻上げて振放させた。「往來の眞中で婦人の衣服を剝ぐと云ふ法があるか貴樣達は盜賊か」と詰問した。さはれ多勢に無勢、彼等は士官にも打つてかゝる於茲士官は更に聲を勵まして今度は群衆に對ひ「道路の眞中で本人の承認もなく衣類を剝ぐのは追剝だ、强盜だ、國家の秩序を重んずる國民は早く警察に知らせよ、さもなくば力をかして此の暴漢を取挫げ」と叫呼する。

間もなく警官が來た、而かも巡査はどう感違ひをしたものか豺狼の如き醜類の肩を持ち、强ひて女に命じて羽織から草履まで脫がせて之を醜類の手に引渡したのである。士官の憤慨は一通りでなかつたがまた如何ともせん術なく其儘引返した。

○

娼妓が自由廢業をなすには警察署に出頭申請さへすれば直に名簿削除が出來るやうになつて居るが、それは所謂出來る筈であつて、實は情實といふものが割つて入り、さう簡單には行かぬのである。

品川警察署のやり口を以て一般を押すは早計かもしれぬが、これまでの事實に依つて見るに大抵は似たものである。救世軍などで娼妓の意志により士官同道廢業の申請に行つても女の意志のみでは名簿の削除はしてくれない。直に樓主を呼び出して對談させる。無論樓主はすかしたり威したり、あらゆる言辭を用ひて女を引返さうとする。だから意志の弱いものはつひ樓主と妥協してしまう。だからそんな場合には聾になつてるが得策で、どんな事を云はれやうとも樓主などの言ひ分には耳をかさず、只廢業しとうございます〳〵と云つて居れば成功するのである。

ところがまた然なると樓主の方でも色々の云ひ掛りをする——着て居る着物は樓主のものだ、それを默つて着て出ると云ふのは不都合であると云ふのである。無論親權者と樓主との最初の契約中に、『本人に對する衣類全部質權を以て貴殿方へ擔保として提供しある事を承認す』と云ふ文言があるからして着物を返せと云はれても仕方がないが、それにしても前項に云つたやうな待伏をさして往來の眞中で女の着物を無理に剝ぐと云ふのはあまりに亂暴ではないか。

又、借したものなら、其時脱がしてしまへば事はないものを、態々横領罪として告訴した樓主もあつた。これは威しの積りか、或は殘つた娼妓へのみせしめのためか、但しは踏倒されたいま〳〵しさの腹いやせでもあらう、併し兎も角も無法な處置と云はねばならぬ。

○いつぞやの一人は朋輩から毛糸を一オンス借りて居たとか、編物の編かけを持つて出たとか云つて故障を申し立てられた。樓主と云ふものはそんな些少な事をも云ひがゝりとして訴へもすれば引返さうともする。例へばお前は誰々に何を借りてるさうだから廢めるにしても一應歸つてわびをしたらよからうとか、長い間馴染になつたのだから、出るのは出ていゝが、まあ朋輩にも挨拶をして來たがよからうとか、もつともらしい事を云つてどうかしてモ一度樓内に入れんとする。ソンナ時にウッカリそれも然だと出ようものなら、一歩樓内に踏み込んだが最後樓主の掌中に入つたも同樣である。

それはかりでなく若し樓主が娼妓に廢業の意志あるを豫め知り得た場合には早速轉換をさしてしまう、自分の樓に居る中に廢業をされては全損であるから、安くても他に鞍替さして取れるだけの金は取つて置かうと云ふのである。なせ樓主は直に獨斷で鞍替をさせる事が出來るかと云ふにそれには理由がある。轉換をするには親權者の同意を得なければならぬのであるが、そんなことに抜目はない樓主は最初から其承認を得て居る、最初の證文の中に不忠實な行爲があつた場合はいつでも何時でも他に轉換して苦しからずと云ふやうな意味の契約が親權者との間に結ばれてある。だから廢業したいと云つて救世軍なんかに手紙でも出さうものなら、それが所謂不忠實の行爲となるのである。

○樓主は斯くの如くにして彼等の廢業を妨害するのみならず、これが豫防をも無論なすのである。その一としては洲崎などでは東京の賣笑婦上りの、すれつからしの何も彼も知つて知りぬいてる土地に馴れたものは採らない、皆秋田だとか山形だとかの田舍に行つて何にも知らぬ田舍娘を引張つて來る。これはまた其親をまるめ込む上から云つても彼等のためには得策である。東京の親ならばなか〳〵六ケしいが、田舍のものは純の純である甘い事を云つて聞かせると、成程そんなものかと恰かも御殿にでも上るかのやうに思ふので樓主のためには都合がいゝ。そこで娘が娼妓稼業の辛い事などこまごまと認めて親許へ手紙でも出さうものなら親の方で却て「家の娘は我儘だ」と云つて其手紙を樓主に送り届ける位である。それからまた田舍の親などが上京して訪ねて來た時などは、別室に通して大變な優待をする、そして娘と對談する時にも成可く他の者か同席して稼業の面白いやうな方面ばかりを云つて氣を引立て、娘の口から辛い事など、あまり立入つた話をする暇のないやうに仕向けてしまう それから又歸る時には娘なる娼妓には借金をさしても、四圓なり五圓なりの田舍者の心を得るに充分な土産を持たしてやるのである。だから親の方ではうちの娘は大變に結構な生活をしてるのだと思ひ込んでるのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori. Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

▲入院は診斷後隨時需に應ず

松田、林、峰間三副長は目下當院に在勤

電本 八八八番（病院用）
八九八番（自宅用）

東洋內科醫院

東京市神田區駿河臺鈴木町二番地、御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町柏海濱、停車場より半里

電チガサキ 二番

南湖院

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

▲院長渡歐中の處先般歸朝す

修容は婦德の第一步

端正の精神は端正の容儀に宿る

常にクラブ**洗粉**を用ゐて氣高き素顏の美を增され よ

朝夕クラブ**白粉**を用ゐて床しき薄化粧を整へられよ

毎朝クラブ**齒磨**を用ゐて口齒を淨め精神を爽かにせられよ

斯くして信仰深き御身の品位と健康とを保ち給ふべし

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY